

(裏面)

第 號 昭和 年 月 日交付

當該官廳印
官 職 氏 名

一四〇

(追九) 四九二

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徴シ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

國家總動員法第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

馬事團體令第三十二條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ日本馬事會又ハ其ノ會員若ハ會員タル團體ヲ組織スル者ヨリ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ事務所、事業場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ馬事ニ關スル業務ノ狀況若ハ帳簿書類、設備其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

馬事團體令第四十六條 第六條第二項、第八條、第九條、第十五條乃至第二十七條及第三十二條乃至第三十七條ノ規定ハ馬事組合ニ之ヲ準用ス但シ農林大臣トアルハ農林大臣又ハ地方長官トシ關係各大臣トアルハ關係各大臣又ハ地方長官トス
馬事團體令施行規則 令第三十二條第二項(令第四十六條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ證票ハ様式第二號ニ依ル

第十八條關係

一四一

(追九) 四九三

馬事團體令ニ基ク團體ノ登記及清算等ニ關スル件

昭和十六年十二月二十四日
農林省 令 第一號
陸軍省 令 第一號
司法省 令 第一號

第一章 登記

第一條 馬事團體令(以下令ト稱ス)第六條ノ規定ニ基キ日本馬事會成立シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ左ニ掲グル事項ヲ登記スルコトヲ要ス

一 目的

二 名稱

三 事務所

四 成立ノ年月日

五 會頭、副會頭及理事ノ氏名及住所

前項ニ掲グル事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ變更ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二條 日本馬事會成立ノ後新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ其ノ事務所ノ所在地ニ於テハ前條第一項ニ掲グル事項ヲ登記スルコトヲ要ス但シ既ニ存スル事務所ノ所在地ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ其ノ事務所ヲ設ケタルコトヲ登記スルヲ以テ足ル

(追九) 四九四

(追九) 四九五

第三條 日本馬事會ガ事務所ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ移轉ノ登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ第一條第一項ニ掲グル事項ヲ登記スルコトヲ要ス但シ同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタルトキハ其ノ移轉ノ登記ヲ爲スヲ以テ足ル

第四條 日本馬事會ノ解散ノ命令アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ解散ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第五條 日本馬事會ノ清算人ノ選任アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ清算人ノ氏名及住所ヲ登記スルコトヲ要ス

第一條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六條 日本馬事會ノ清算結了シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ清算結了ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第七條 日本馬事會ノ登記ニ付テハ其ノ事務所ノ所在地ノ區裁判所ヲ以テ管轄登記所トス
前項ノ登記ハ統制團體登記簿ニ之ヲ爲ス

第八條 第一條乃至第四條ノ規定ニ依ル登記ハ農林大臣ノ囑託ニ因リテ之ヲ爲ス

第五條及第六條ノ規定ニ依ル登記ハ裁判所ノ囑託ニ因リテ之ヲ爲ス

第九條 令第四十三條ノ規定ニ基キ馬事組合成立シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ左ニ掲グル事項ヲ登記スルコトヲ要ス

第十八條關係

- 一 目的
 - 二 名稱
 - 三 地區
 - 四 事務所
 - 五 成立ノ年月日
 - 六 組合長、副組合長及理事ノ氏名及住所
- 前項ニ掲グル事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ變更ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス
- 第十條 第二條乃至第八條ノ規定ハ馬事組合ノ登記ニ之ヲ準用ス但シ農林大臣トアルハ農林大臣又ハ地方長官トス

第十一條 登記シタル事項ハ裁判所遲滞ナク之ヲ公告スルコトヲ要ス

第十二條 非訟事件手續法第二百五條第一項(第五百十條、第五百十條ノ三及第七十七條ヲ準用スル部分ヲ除ク)ノ規定ハ日本馬事會及馬事組合ノ登記ニ之ヲ準用ス

第十三條 農林大臣令第五十二條ノ規定ニ依リ解散ヲ命ジタル場合ニ於テハ解散シタル法人ノ主タル事務所ノ所在地ノ登記所ニ其ノ旨ヲ通知スベシ

前項ノ通知アリタル場合ニハ登記官吏ハ職權ヲ以テ解散ノ登記ヲ爲シ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スベシ

(追九) 四九六

(追九) 四九七

第十四條 前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ登記官吏ハ解散シタル法人ノ從タル事務所ノ所在地ノ登記所ニ其ノ旨ヲ通知スベシ

前條第二項ノ規定ハ前項ノ通知アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第二章 清算

第十五條 日本馬事會ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

第十六條 農林大臣日本馬事會ノ解散ヲ命ジタル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ主タル事務所ノ所在地ノ區裁判所ニ通知スベシ

前項ノ通知アリタルトキハ裁判所ハ職權ヲ以テ清算人ヲ選任ス

裁判所必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ清算人ヲ解任スルコトヲ得

裁判所清算人ヲ選任又ハ解任シタルトキハ其ノ旨ヲ農林大臣ニ通知スベシ

第十七條 清算人ハ日本馬事會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第十八條 清算人ハ清算及財産處分ノ方法ヲ定メ裁判所ノ認可ヲ受クベシ

裁判所必要アリト認ムルトキハ清算人ニ對シ清算及財産處分ノ方法ノ變更其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十九條 日本馬事會ハ解散ノ後ト雖モ裁判所ノ認可ヲ受ケ其ノ債務ヲ完済スルニ必要ナル金額ヲ賦課徴收スルコトヲ得

第十八條關係

令第二十條ノ規定ハ前項ノ賦課徵收ニ關シ之ヲ準用ス

第二十條 農林大臣ハ裁判所ニ對シ清算ニ關シ意見ヲ述ブルコトヲ得

第二十一條 日本馬事會ノ清算結了シタルトキハ裁判所ハ其ノ旨ヲ農林大臣ニ通知スベシ

第二十二條 第十五條乃至前條ノ規定ハ馬事組合ニ之ヲ準用ス但シ農林大臣トアルハ農林大臣又ハ地方長官トス

第二十三條 民法第七十九條、第八十條及第八十二條第二項並ニ非訟事件手續法第三十五條第二項、第三十六條及第三十七條ノ二ノ規定ハ日本馬事會及馬事組合ノ清算ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

日本馬事會ハ昭和十七年一月十四日成立シタリ其ノ定款

左ノ如シ (昭和十七年一月十六日 農林省告示第三十二號)

改正 昭和十七年四月二十日第二百二十九號

日本馬事會定款

第一章 總則

第一條 本會ハ馬事ニ關スル施設ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲馬事ニ關スル事業ノ綜合的統制運営ヲ圖リ之ニ必要ナル經營ヲ行ヒ且馬事ニ關スル國策ノ遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第二條 本會ハ馬事團體令(以下令ト稱ス)ニ依リ設立シ日本馬事會ト稱ス

第三條 本會ハ馬事ニ關スル事業ヲ行フ團體ニシテ農林大臣ノ指定スルモノヲ以テ之ヲ組織ス

第四條 本會ハ主タル事務所ヲ東京市ニ置ク

本會ハ道府縣ニ支會ヲ置キ之ヲ從タル事務所トス

從タル事務所ノ所在地ハ別表ノ通トス

會頭必要アリト認ムルトキハ出張所ヲ置クコトヲ得

第五條 本會ノ公告ハ官報及本會ノ發行スル會報ヲ以テ之ヲ爲ス

第二章 事業

第十八條關係

第六條 本會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ掲グル事業ヲ行フ

- 一 會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ馬事ニ關スル事業ノ統制指導
 - 二 馬ノ生産増加及資質向上、馬事訓練其ノ他馬事ノ發達ニ關スル施設
 - 三 馬ノ移植ニ必要ナル事業ノ經營
 - 四 馬事ニ關スル調査及研究
 - 五 前各號ニ掲グルモノノ外本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業
- 第七條 本會ハ事業ノ執行ニ付農林大臣ノ認可ヲ受ケ統制規程ヲ定ム

第三章 役員及職員

第八條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 會 頭 一人
- 副會頭 二人以内
- 理 事 若干人
- 監 事 若干人
- 評議員 若干人

本會ニ名譽會頭ヲ置クコトヲ得

第九條 會頭ハ本會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

副會頭ハ會頭ヲ輔佐シ會頭ノ定ムル所ニ從ヒ會務ヲ掌理シ豫メ農林大臣ノ定ムル順位ニ依リ會頭事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ會頭缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事ハ會頭及副會頭ヲ輔佐シ會頭ノ定ムル所ニ從ヒ會務ヲ分掌ス
監事ハ本會ノ業務ヲ監査ス

評議員ハ會頭ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會頭ニ對シ意見ヲ具申ス

第十條 會頭、副會頭、理事、監事及評議員ハ農林大臣之ヲ命ズ

名譽會頭ハ農林大臣之ヲ委囑ス

第十一條 會頭、副會頭及理事ノ任期ハ三年監事及評議員ノ任期ハ二年トス

第十二條 副會頭、理事又ハ評議員缺ケタル場合ニ於テ補充セラレタル副會頭、理事又ハ評議員ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

第十三條 會頭、副會頭及理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得ズ但シ農林大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十四條 本會ニ理事會及評議員會ヲ置ク

理事會ハ會頭、副會頭及理事ヲ以テ之ヲ組織ス

評議員會ハ評議員ヲ以テ之ヲ組織ス

理事會及評議員會ノ議長ハ會頭之ニ當ル

第十八條關係

第十五條 本會ハ農林大臣ノ許可ヲ受ケ馬事ニ功勞アル者又ハ馬事ニ關シ學識經驗アル者ノ中ヨリ顧問ヲ推薦スルコトヲ得

顧問ハ本會ノ事業執行上特ニ重要ナル事項ニ關シ本會ノ機務ニ參與ス

第十六條 本會ノ役員及顧問ニ對スル報酬又ハ手當ハ農林大臣ノ認可ヲ受ケ會頭之ヲ定ム

第十七條 本會ノ職員ハ會頭之ヲ任免ス

職員ノ服務及給與ニ關スル規程ハ農林大臣ノ認可ヲ受ケ會頭之ヲ定ム

第十八條 本會ハ鍛鍊馬競走ニ關スル左ニ掲グル事務ヲ掌ラシムル爲各専門ノ職員ヲ置クモノトス

一 審査

二 發走

三 優等馬投票

前項ノ職員ノ任免ニ付テハ農林大臣ノ認可ヲ受クルモノトス

第四章 總會及總代會

第十九條 通常總會ハ毎年一回會頭之ヲ招集ス

會頭必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ招集スルコトヲ得

第二十條 總會ノ議長ハ會頭之ニ當ル

第二十一條 左ニ掲グル事項ハ總會ニ諮ルモノトス

一 定款ノ變更

二 第二十九條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法

第二十二條 會頭ハ毎年總會ニ本會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ監事ヲシテ監査ノ結果ヲ報告セシム

第二十三條 本會ハ總會ニ代ルベキ總代會ヲ置ク

總代會ハ左ニ掲グル會員ヲ以テ之ヲ組織ス

一 農林大臣ノ認可ヲ受ケ會頭ノ指定シタル會員

二 道府縣毎ニ當該道府縣内ノ前號ノ會員以外ノ會員中ヨリ其ノ過半數ノ同意ヲ得テ會頭ノ指定シタル會員

前四條ノ規定ハ總代會ニ之ヲ準用ス

第五章 支會

第二十四條 削除

第二十五條 支會ニハ支會長一人及副支會長二人以内ヲ置ク

支會長及副支會長ハ會頭之ヲ命ジ又ハ委囑ス

第二十六條 支會長ハ會長ノ指揮ヲ承ケ會頭ノ屬セシメタル業務ヲ掌理ス

副支會長ハ支會長ヲ輔佐シ豫メ會頭ノ定ムル順位ニ依リ支會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理

第十八條關係

シ支會長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

第二十七條 支會長及副支會長ノ任期ハ三年トス

會頭必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ支會長及副支會長ヲ解任スルコトヲ得

第六章 會計

第二十八條 本會ノ資産ハ左ニ掲グルモノヨリ成ル

一 第二十九條ノ規定ニ依ル賦課金

二 本會ノ所有ニ屬スル財産及之ヨリ生ズル收入

三 本會ノ事業ヨリ生ズル收入

四 其ノ他ノ收入

第二十九條 本會ハ會員ニ對シ經費ヲ賦課スルコトヲ得

本會ハ事業ヲ行フ爲特ニ必要アルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受ケ會員ノ全部又ハ一部ニ對シ前項

ノ規定ニ依ル賦課金ノ外特別ノ賦課金ヲ課スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法ハ會頭之ヲ定ム

第三十條 本會ハ左ニ掲グル事項ニ付使用料、手数料又ハ實費ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

一 本會ノ管理スル建物其ノ他ノ營造物ノ利用

二 登録、調査、鑑定及出版

(追十一)

八二六

(追十二)

八二七

使用料、手数料及實費辨償ノ額ハ會頭之ヲ定ム

第三十一條 本會ノ保有スル資金ハ日常ノ經費ニ必要ナルモノヲ除クノ外左ノ方法ニ依リ之ヲ管理スルモノトス

- 一 國債證券又ハ農林大臣ノ認可ヲ受ケタル有價證券ノ買入
- 二 農林大臣ノ認可ヲ受ケタル銀行ヘノ預金又ハ郵便貯金

第三十二條 本會ノ事業年度ハ一年トシ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第七章 過怠金

第三十三條 本會ハ統制規程ノ定ムル所ニ依リ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ過怠金ヲ課ス

附則

第三十四條 第十一條ノ規定ニ拘ラズ本會設立當時ノ副會頭二人ノ場合ニ於テ其ノ中一人及理事

ノ四人ノ任期ハ二年トシ評議員ノ中十二人ノ任期ハ一年トス

別表

支會名	事務所所在地	支會名	事務所所在地
北海道支會	札幌市	宮城縣支會	仙臺市
青森縣支會	青森市	秋田縣支會	秋田市
岩手縣支會	盛岡市	山形縣支會	山形市

第十八條關係

福島縣支會
茨城縣支會
栃木縣支會
群馬縣支會
埼玉縣支會
千葉縣支會
東京府支會
神奈川縣支會
新潟縣支會
富山縣支會
石川縣支會
福井縣支會
山梨縣支會
長野縣支會
岐阜縣支會
靜岡縣支會

福島市
水戸市
宇都宮市
前橋市
浦和市
千葉市
東京市
橫濱市
新潟市
富山市
金澤市
福井市
甲府市
長野市
岐阜市
靜岡市

愛知縣支會
三重縣支會
滋賀縣支會
京都府支會
大阪府支會
兵庫縣支會
奈良縣支會
和歌山縣支會
鳥取縣支會
島根縣支會
岡山縣支會
廣島縣支會
山口縣支會
德島縣支會
香川縣支會
愛媛縣支會

名古屋市
津市
大津市
京都市
大阪市
神戸市
奈良縣生駒郡平城村
和歌山市
鳥取市
松江市
岡山市
廣島市
山口市
德島市
高松市
松山市

(追十二) 八二八

高知縣支會
福岡縣支會
佐賀縣支會
長崎縣支會
熊本縣支會

高知市
福岡市
佐賀市
長崎市
熊本市

大分縣支會
宮崎縣支會
鹿兒島縣支會
沖繩縣支會

大分市
宮崎市
鹿兒島市
那覇府

(追十一) 八二九

戰時海運管理令

(昭和十七年三月二十五日
勅令第二百三十五號)

第一章 總則

第一條 國家總動員法(昭和十三年勅令第二百十七號)ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ)第四條ノ規定ニ基ク船舶運營會(海運事業ノ統制ノ爲ニスル經營ヲ目的トスル團體ヲ謂フ以下同ジ)ノ運航スル船舶ニ乗組マシムベキ船員ノ徵用、同法第六條ノ規定ニ基ク被徵用船員ノ解雇、從業、退職又ハ給與ニ關スル命令、同法第八條ノ規定ニ基ク船舶運營會ノ運航スル船舶ノ使用ニ關スル命令、同法第十三條ノ規定ニ基ク船舶運營會ヲシテ運航セシムベキ船舶ノ使用及船員ノ衛生及教育訓練ニ關スル施設ノ管理竝ニ同法第十八條ノ規定ニ基ク船舶運營會ノ設立ニ關スル命令及船舶運營會ニ關シ必要ナル事項ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二章 船舶使用

第二條 遞信大臣ハ命令ヲ以テ定ムル日本船舶ヲ使用スルコトヲ得但シ陸軍官憲又ハ海軍官憲ガ法令又ハ契約ニ基キテ爲ス船舶ノ使用ヲ妨ゲズ

第三條 遞信大臣船舶ヲ使用セントスルトキハ當該船舶ノ所有者ニ對シ使用令書ヲ送達スベシ但シ已ムヲ得ザル場合ニ於テハ權原ニ基キ當該船舶ヲ占有スル者(以下管理者ト稱ス)ニ對シ之ヲ送達スルヲ以テ足ル

(連十一) 八三〇

(連十) 五八九

前項本文ノ場合ニ於テ所有者ガ管理者ニ非ザルトキハ遞信大臣ハ管理者ニ對シテモ令書ヲ送達スベシ

第四條 遞信大臣令書ノ送達ヲ爲シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ官報ニ公告スベシ但シ軍機保護上其ノ他特ニ必要アリト認ムルトキハ使用ノ目的タル船舶ニ付權利ヲ有スル者(令書ノ送達ヲ受ケタル者ヲ除ク)ニシテ知レタルモノニ對シ之ヲ通知シ公告ニ代フルコトヲ得

第五條 令書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 令書ノ送達ヲ受クベキ者ノ名
- 二 使用スベキ船舶ノ名稱及番號
- 三 使用スベキ船舶ノ引渡ノ時期及場所
- 四 使用ノ期間
- 五 其ノ他必要ト認ムル事項

第六條 使用ノ目的タル船舶ノ所有者又ハ管理者ハ使用ニ支障ヲ及ボス虞ナキ場合ヲ除クノ外遞信大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ左ニ掲グル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

- 一 當該船舶ヲ改造シ又ハ修繕スルコト
- 二 當該船舶ノ機關若ハ艤裝品又ハ其ノ部分品若ハ附屬品ヲ撤去シ又ハ其ノ備附ヲ止ムルコト
- 三 當該船舶ヲ讓渡シ若ハ賃貸シ又ハ抵當權ノ目的ト爲シ其ノ他當該船舶ニ付新ナル處分ヲ爲

第十八條關係

スコト

第七條 使用ノ目的タル船舶ノ所有者又ハ管理者ハ當該船舶ニ付讓渡其ノ他ノ事由ニ因リ他ノ者ガ所有者若ハ管理者タルニ至リタルトキ又ハ滅失、毀損其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ因リ第九條ノ規定ニ依ル引渡ヲ爲スコト能ハザルニ至リタルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ遲滯ナク之ヲ遞信大臣ニ報告スベシ

前項ノ規定ハ前條ノ許可アリタル場合ニハ之ヲ適用セズ

第八條 遞信大臣令書ヲ送達シタル後第九條ノ規定ニ依ル引渡前ニ於テ當該船舶ヲ使用セザルモノト決定シタルトキハ其ノ所有者及管理者ニ對シ其ノ旨ヲ通知スベシ

第四條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九條 使用ノ目的タル船舶ノ所有者又ハ管理者ハ令書ニ記載シタル引渡ノ時期及場所ニ於テ當該船舶ヲ遞信大臣ニ引渡スベシ

前項ノ規定ハ當該船舶ニ付強制執行手續、國稅徵收法ニ依ル強制徵收手續其ノ他此等ノ手續ニ準ズベキモノノ進行中ト雖モ其ノ適用ヲ妨ゲズ

第十條 遞信大臣ハ當該官吏ヲシテ使用ノ目的タル船舶ノ引渡ヲ受ケシムルモノトス

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ引渡ヲ受ケシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

(進十) 五九〇

(進十) 五九一

第十一條 當該官吏船舶ノ引渡ヲ受ケタルトキハ受領調書ヲ作り引渡ヲ爲シタル所有者又ハ管理者ニ之ヲ交付スベシ

當該官吏前項ノ規定ニ依リ受領調書ヲ管理者ニ交付シタル場合ニ於テハ遲滯ナク所有者ニ其ノ謄本ヲ送達スベシ

第十二條 使用ノ目的タル船舶ノ引渡アリタル時ニ於テ政府之ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ使用ノ期間其ノ行使ヲ停止セラル但シ使用ヲ妨ゲザルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條 遞信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ被使用船舶ヲ船舶運營會ニ貸付クルモノトス

第十四條 船舶ノ使用期間滿了シ又ハ其ノ使用ヲ廢止スルトキハ遞信大臣ハ當該船舶ヲ所有者ニ返還スベシ但シ返還ノ時期ニ於テ管理者タルコトヲ得ベキ者ヨリ豫メ請求アリタルトキハ其ノ者ニ返還スルコトヲ得

遞信大臣前項ノ規定ニ依リ船舶ヲ返還セントスルトキハ豫メ返還通知書ヲ返還ヲ受クベキ者ニ送達スベシ但シ所有者知レザル場合又ハ所有者ニ送達スルコト著シク困難ナル場合ニ於テ前項但書ノ規定ニ依ル請求ナキトキハ官報ニ公告スルヲ以テ足ル

第十五條 返還通知書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ
一 返還ヲ受クベキ者ノ名

第十八條關係

二 返還スベキ船舶ノ名稱及番號

三 返還ノ時期及場所

四 其ノ他必要ト認ムル事項

第十六條 船舶ノ使用權ハ返還通知書又ハ公告ノ返還時期ニ於テ消滅ス

第十七條 本令又ハ本令ニ基キテ發ス命令ニ依リ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ使用ノ目的タル船舶ノ所有者又ハ關係者ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

第三章 船員徵用

第十八條 遞信大臣ハ左ノ各號ニ掲グル者ヲ徵用スルコトヲ得

一 第三條第一項ノ規定ニ依ル令書送達ノ際當該船舶ニ乗組中ノ船員

二 日本船舶ノ所有者又ハ日本船舶ノ所有者ノ組織セル團體ニシテ遞信大臣ノ指定スルモノノ保有セル豫備員タル船員

三 船員職業能力申告令第二條ニ掲グル船員ニシテ前各號ニ掲グル以外ノモノ
前項第三號ニ掲グル者ノ徵用ハ同項第一號及第二號ニ掲グル者ノ徵用ニ依リ所要ノ人員ヲ得ラレザル場合ニ限り之ヲ行フモノトス

第十九條 本令ニ依リ徵用スル者ハ船舶運營會ノ運航セル船舶ニ配置セラルルモノトス

第二十條 被徵用船員ハ其ノ職務ニ關シ第四十六條ノ規定ニ依リテ爲ス船舶運營會ノ指示ニ從フベシ

(進十) 五九二

第二十一條 被徵用船員ニ對セル給料、手當、賞與其ノ他ノ給與ハ命令ノ定ムル所ニ依リ船舶運營會之ヲ支給スルモノトス

(進十) 五九三

第二十二條 被徵用船員ノ乗組ム船舶ガ陸軍官憲又ハ海軍官憲ニ於テ使用セララルルニ至リタルトキハ遞信大臣ハ當該船舶ニ乗組ム船員ノ徵用ヲ解除ス

第二十三條 被徵用船員ノ解雇及退職ハ命令ノ定ムル所ニ依リ遞信大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

被徵用船員ニ付テハ雇傭期間ノ滿了其ノ他解雇及退職以外ノ事由ニ因リ雇傭關係ノ終了スル場合ニ於テハ引續キ雇傭關係ヲ存續セシムルコトヲ要ス但シ命令ノ定ムル所ニ依リ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前二項ノ規定ハ海員ノ雇入契約ニハ之ヲ適用セズ

第二十四條 被徵用船員ハ遞信大臣ノ定ムル服務規律ニ從フベシ

第二十五條 被徵用船員船舶運營會ノ運航スル船舶ニ乗組ミ職務ニ從事中戰鬪行爲又ハ之ニ準ズベキ危険ニ遭遇シ因リテ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本人又ハ其ノ遺族ニ對シ一時金ヲ支給ス前項ノ遺族ノ範圍及順位ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十六條 船員徵用令第六條、第七條、第十二條第二項、第十三條第一項、第十七條ノ二、第十九條及第二十條ノ規定ハ第十八條第一項各號ニ掲グル者ノ徵用ニ付之ヲ準用ス

第十八條關係

船員徵用令第八條、第九條及第十六條ノ規定ハ第十八條第一項第三號ニ掲グル者ノ徵用ニ付之ヲ準用ス

遞信大臣必要アリト認ムルトキハ第十八條第一項第一號及第二號ニ掲グル者ノ徵用ニ付テハ第一項ノ規定ニ拘ラズ徵用令書及徵用解除令書並ニ其ノ交付ニ關シ命令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第二十七條 遞信大臣ハ船舶所有者又ハ海事ニ關スル法人ニ屬スル船員ノ衛生及教育訓練ニ關スル施設ヲ管理スルコトヲ得

第二十八條 遞信大臣ハ前條ノ規定ニ依リ管理スル施設ニ於ケル船員ノ衛生及教育訓練ニ關スル業務ニ付經營者ヲ指揮監督ス

第二十九條 工場事業場管理令第三條乃至第五條(第二條ノ規定ヲ準用スル部分ヲ除ク)、第八條乃至第十條及第十二條ノ規定ハ船員ノ衛生及教育訓練ニ關スル施設ノ管理ニ付之ヲ準用ス但シ同令第四條第三號中第十四條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ職權ノ一部ヲ行フ官衙ノ長トアルハ戰時海運管理令第六十四條ノ規定ニ依リ同令第二十八條ノ管理ニ關スル職權ノ一部ヲ行フ海務局長トス

第四章 船舶運營會

第三十條 船舶運營會ハ戰時ニ於ケル海運ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲海運事業ノ統制ノ

(連十) 五九四

爲ニスル經營ヲ爲シ且海運ニ關スル國策ノ遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

(連十) 五九五

第三十一條 船舶運營會ハ其ノ目的ヲ達スル爲被使用船舶其ノ他ノ船舶ニ依ル海運事業ヲ行フ船舶運營會ハ遞信大臣ノ命令ニ依リ又ハ其ノ認可ヲ受ケ前項ノ事業ノ外其ノ目的達成上必要ナル附帶事業ヲ行フコトヲ得

第三十二條 船舶運營會ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ日本船舶ノ所有者又ハ日本船舶ノ所有者ノ組織スル團體ニシテ遞信大臣ノ指定スルモノトス

第三十三條 遞信大臣船舶運營會ヲ設立セシメントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リ構成員タル資格ヲ有スル者ニ對シ船舶運營會ノ設立ヲ命ズベシ

前項ノ規定ニ依ル船舶運營會ノ設立ノ命令アリタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ創立總會ヲ開キ之ニ諮リテ定款其ノ他船舶運營會ノ設立ニ必要ナル事項ヲ定メ遞信大臣ノ認可ヲ受クベシ

第三十四條 船舶運營會ノ定款ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

- 一 目的
- 二 名稱
- 三 事務所ノ所在地
- 四 構成員ニ關スル規定
- 五 事業及其ノ執行ニ關スル規定

- 六 役員ニ關スル規定
- 七 會議ニ關スル規定
- 八 資産及會計ニ關スル規定

第三十五條 船舶運營會ハ第三十三條第二項ノ認可アリタル時又ハ國家總動員法第十八條第三項ノ規定ニ依リ定款ノ作成アリタル時成立ス

第三十六條 船舶運營會成立シタルトキハ其ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ總テ其ノ構成員トス
關東州ニ船籍港ヲ定ムル日本商船ノ所有者又ハ其ノ團體ハ第三十二條ノ規定ニ拘ラズ遞信大臣ノ認可ヲ受ケ船舶運營會ノ構成員ト爲ルコトヲ得

第三十七條 船舶運營會ニハ左ノ役員ヲ置クベシ
總裁 一人
理事長 一人
理事 若干人
監事 若干人
評議員 若干人

第三十八條 總裁ハ船舶運營會ヲ代表シ其ノ業務ヲ統理ス其ノ過失ニ對シテは國家總動員法第十八條第三項ノ規定ニ依リ定款ノ作成アリタル時又ハ國家總動員法第十八條第三項ノ規定ニ依リ定款ノ作成アリタル時成立ス
理事長ハ總裁ヲ輔佐シ船舶運營會ノ業務ヲ掌理シ總裁事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ總裁缺

(連十) 五九六

(連十) 五九七

員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ
理事ハ總裁及理事長ヲ輔佐シ船舶運營會ノ業務ヲ分掌シ又ハ之ニ參與ス
業務ヲ分掌スル理事ハ豫メ總裁ノ定ムル順位ニ依リ總裁及理事長共ニ事故アルトキハ總裁ノ職務ヲ代理シ總裁及理事長共ニ缺員ノトキハ總裁ノ職務ヲ行フ
監事ハ船舶運營會ノ財産ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ總裁ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ總裁ニ對シ意見ヲ具申ス

第三十九條 船舶運營會ノ役員ハ海運ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ遞信大臣之ヲ命ズ
總裁、理事長及理事ノ任期ハ三年、監事及評議員ノ任期ハ二年トス

第四十條 總裁、理事長及業務ヲ分掌スル理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ従事スルコトヲ得ズ但シ遞信大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第四十一條 通常總會ハ毎年一回總裁之ヲ招集ス
總裁必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ招集スルコトヲ得

第四十二條 定款ノ變更ハ總會ニ諮リ總裁之ヲ決ス
第四十三條 總裁ハ毎年總會ニ船舶運營會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ監事ヲシテ財産ノ狀況ヲ報告セシムベシ

第四十四條 船舶運營會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ被使用船舶ヲ借入ルベシ

第四十五條 船舶運營會ハ遞信大臣ノ指定スル航海及遞信大臣ノ指定スル人又ハ物ノ運送ヲ爲ス
ベシ

船舶運營會ハ遞信大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ前項ノ航海又ハ運送以外ノ航海又ハ運送ヲ爲
スコトヲ得ズ

第四十六條 船舶運營會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ被徵用船員ニ對シ職務ニ關スル指示ヲ爲スベシ

第四十七條 船舶運營會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ被使用船舶ノ所有者ニ對シ一定ノ金額ヲ支拂フベシ

被使用船舶ガ知レタル先取特權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニ於テハ船舶運營會ハ前項ノ金額ヲ
供託スベシ

先取特權者又ハ抵當權者ハ前項ノ供託金ニ對シテモ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第四十八條 船舶運營會ハ第二十五條第一項ノ規定ニ依ル一時金ノ支給及第二十六條第一項ニ於
テ準用スル船員徵用令第十七條ノ二ノ規定ニ依ル扶助ニ要シタル金額ヲ命令ノ定ムル所ニ依リ

國庫ニ納入スベシ

第四十九條 船舶運營會ハ業務規程ヲ設定スベシ

第五十條 船舶運營會ニ運航實務者ヲ置ク

前項ノ運航實務者ハ船舶運營會ノ構成員中ヨリ遞信大臣之ヲ命ズ

第五十一條 運航實務者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ船舶運營會ノ爲ス指示ニ從ヒ船舶ノ運航ニ關ス

(通十)

五九八

(通十)

五九九

ル事務ヲ處理ス

船舶運營會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ運航實務者ニ對シ一定ノ事務處理手数料ヲ支拂フベシ

第五十二條 船舶運營會ハ其ノ構成員ニ對シ船舶運營會ノ事業遂行ノ爲必要ナル事務ノ處理又ハ

報告ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ事務ノ處理又ハ報告ノ提出ヲ命ゼラレタル者ハ遲滯ナク之ニ應ズベシ

第五十三條 船舶運營會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款ニ違反シタル構成員ニ對シ過怠金ヲ課スル

コトヲ得

前項ノ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ船舶運營會ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村税ノ例

ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ船舶運營會ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スベシ

前項中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキモノトス

第二項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ徵收金ニ次ギ

其ノ時効ニ付テハ市町村税ノ例ニ依ル

第五十四條 船舶運營會ノ定款ノ變更竝ニ業務規程ノ設定及變更ハ遞信大臣ノ認可ヲ受クルニ非

ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第五十五條 船舶運營會ノ剩餘金ノ處分ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十六條 遞信大臣船舶運營會ノ目的達成上必要アリト認ムルトキハ船舶運營會ニ對シ必要ナ

ル事業ノ施行ヲ命ジ又ハ定款ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得
第五十七條 遞信大臣ハ船舶運營會ニ對シ業務及會計ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

遞信大臣必要アリト認ムルトキハ監事ヲシテ監査ノ結果ヲ報告セシムルコトヲ得
第五十八條 船舶運營會社ハ命令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ
第五十九條 遞信大臣ハ船舶運航會ノ役員又ハ運航實務者ガ法令、法令ニ基キテ爲ス處分、定款又ハ業務規程ニ違反シタルトキ、公益ヲ害シタルトキ其ノ他船舶運營會ノ目的達成上不適當ナリト認ムルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

第六十條 船舶運營會ハ遞信大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

第五章 雜則

第六十一條 國家總動員法第二十七條ノ規定ニ依リ補償スベキ損失ハ第二十七條ノ規定ニ依ル處分ニ因リ通常生ズベキ損失及第二條又ハ第四十五條第一項ノ規定ニ依ル處分ニ因リ生ズベキ損失ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノトス

損失補償請求ノ時期其ノ他損失補償ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第四十七條第二項及第三項ノ規定ハ第一項ノ補償金ニ付之ヲ準用ス

(進十) 六〇〇

(進十) 六〇一

第六十二條 遞信大臣又ハ海務局長必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ使用セントスル船舶ノ所有者若ハ管理者、遞信大臣ノ管理ニ係ル船員ノ衛生及教育訓練ニ關スル施設ノ經營者又ハ船舶運營會ヨリ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ事務所、營業所、船舶其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類、設備其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第六十三條 本令及本令ニ基キテ發スル命令中船舶所有者ニ關スル規定ハ船舶共有ノ場合ニ在リテ船舶管理人ヲ置キタルトキハ船舶管理人ニ、船舶貸借ノ場合ニ在リテハ船舶借入ニ之ヲ適用ス
第六十四條 遞信大臣ハ本令ニ定ムル職權ノ一部ヲ海務局長ニ委任スルコトヲ得

第六十五條 第二章及第四章ヲ除クノ外本令中遞信大臣トアルハ朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島(以下外地ト稱ス)ニ在リテハ各朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官トシ海務局長トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテハ各朝鮮總督府遞信局長又ハ臺灣總督府交通局總長トス

第二章中遞信大臣トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ船籍港ヲ定ムル日本船舶ニ付テハ各朝鮮總督又ハ臺灣總督トス

第四條及第十四條第二項中官報トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテハ各朝鮮總督府官報又ハ臺灣總督府報トス

第十八條關係

第五十三條中市町村トアルハ朝鮮ニ在リテハ府邑面、臺灣ニ在リテハ市街庄、南洋群島ニ在リテハ南洋群島地方費トシ市町村稅トアルハ朝鮮ニ在リテハ國稅、臺灣ニ在リテハ市街在稅、南洋群島ニ在リテハ地方費稅トシ百分ノ四トアルハ朝鮮ニ在リテハ百分ノ五トス

第六十六條 遞信大臣船舶運營會ガ内地ニ在ル者ト外地ニ在ル者トヲ以テ組織セラルル場合ニ於テ之ニ關シ左ニ掲グル處分ヲ爲サントスルトキハ朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官ニ協議スベシ但シ第一號及第二號ニ掲グル處分ニ付テハ外地ニ在ル者ニ對シ處分ヲ爲ス場合ニ限ル

一 第三十二條ノ規定ニ依ル指定

二 第三十三條第一項ノ規定ニ依ル命令

三 第三十三條第二項ノ規定ニ依ル認可

第六十七條 朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官第二十一條若ハ第二十五條ノ規定ニ依ル處分又ハ第二十六條第一項ニ於テ準用スル船員徵用令第十七條ノ二ノ規定ニ依ル處分ヲ爲サントスルトキハ遞信大臣ニ協議スベシ

第六十八條 本令ニ規定スルモノヲ除クノ外船舶使用、船員徵用及船舶運營會ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

戰時海運管理令施行規則

(昭和十七年三月二十五日 遞信省令第四十六號)

第一章 船舶使用

第一條 戰時海運管理令(以下令ト稱ス)第二條ノ日本船舶ハ左ニ掲グルモノトス

一 總噸數百噸以上ノ汽船

二 總噸數百五十噸以上ノ機帆船

三 前二號ニ掲グルモノノ外遞信大臣ノ告示ヲ以テ指定スル船舶

前項ノ船舶ニハ官廳又ハ公署ノ所有シ又ハ使用スル船舶及海難救助、浚渫又ハ測量ニノミ用フル船舶竝ニ専ラ湖川ヲ航行スル船舶ハ之ヲ包含セズ

第二條 遞信大臣令第三條ノ規定ニ依リ使用令書ヲ送達シタルトキハ船舶運營會ニ之ヲ通知ス令書ヲ送達シタル後使用ノ開始前ニ於テ當該船舶ヲ使用セザルモノト決定シタルトキ亦同ジ

第三條 令第四條ノ公告ハ遞信大臣使用ノ目的タル船舶及使用開始ノ時期ヲ官報ニ掲載スルニ依リ之ヲ爲ス

第四條 令第六條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ各項ノ區別ニ依リ必要事項ヲ記載シタル申請書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

使用ノ目的タル船舶ヲ改造又ハ修繕スル必要アル場合ニ於テハ許可申請書ニ左ノ事項ヲ記載ス

第十八條關係

- 一 船舶ノ名稱、番號、種類、用途及總噸數
 - 二 改造又ハ修繕ヲ行フ造船所ノ名稱及所在地
 - 三 改造又ハ修繕ノ必要アル事由
 - 四 改造又ハ修繕ノ範圍及程度
 - 五 改造又ハ修繕ノ時期及期間
 - 六 其ノ他參考ト爲ルベキ事項
- 使用ノ目的タル船舶ノ機關若ハ艤裝品又ハ其ノ部分品若ハ附屬品ヲ撤去シ又ハ其ノ備附ケヲ止ムル必要アル場合ニ於テハ許可申請書ニ左ノ事項ヲ記載スベシ
- 一 船舶ノ名稱、番號、種類、用途及總噸數
 - 二 撤去シ又ハ備附ケヲ止メントスル機關、艤裝品又ハ其ノ部分品若ハ附屬品ノ表示
 - 三 撤去シ又ハ備附ケヲ止ムル必要アル事由
 - 四 撤去シ又ハ備附ケヲ止メントスル時期及期間
 - 五 其ノ他參考ト爲ルベキ事項
- 使用ノ目的タル船舶ヲ讓渡シ若ハ賃貸シ又ハ抵當權ノ目的ト爲シ其ノ他當該船舶ニ付新ナル處分ヲ爲ス必要アル場合ニ於テハ許可申請書ニ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 船舶ノ名稱、番號、種類、用途及總噸數
- 二 讓渡、賃貸又ハ抵當權ノ設定其ノ他新ナル處分ノ必要アル事由
- 三 讓受人、賃借人又ハ抵當權者其ノ他新ナル處分ニ依リ權利ヲ有スルニ至ルベキ者ノ住所及名
- 四 讓渡、賃貸又ハ抵當權ノ設定其ノ他ノ新ナル處分ノ時期
- 五 讓渡、賃貸又ハ抵當權ノ設定其ノ他新ナル處分ノ内容
- 六 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第五條 令第七條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サントスル者ハ左ノ各項ノ區別ニ依リ必要事項ヲ記載シ

- 一 船舶ノ名稱、番號、種類、用途及總噸數
- 二 他ノ者ガ所有者又ハ管理者タルニ至リタル事由
- 三 他ノ者ガ所有者又ハ管理者タルニ至リタル時期
- 四 新ナル所有者又ハ管理者ノ住所及名
- 五 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

使用ノ目的タル船舶ニ付滅失、毀損其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ依リ令第九條ノ規定ニ依ル引渡ヲ爲スコト能ハザルニ至リタル場合ニ於テハ報告書ニ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 船舶ノ名稱、番號、種類、用途及總噸數
- 二 滅失又ハ毀損ノ程度其ノ他引渡ヲ爲スコト能ハザル狀況
- 三 滅失、毀損其ノ他引渡ヲ爲スコト能ハザル狀況ニ至リタル事情
- 四 滅失、毀損其ノ他引渡ヲ爲スコト能ハザル狀況ニ至リタル時期
- 五 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第六條 前條第二項ノ報告書ノ提出アリタルトキハ遞信大臣ハ船舶運營會ニ之ヲ通知ス

第七條 令第十條第二項ノ證票ハ様式第一號ニ依ル

第八條 使用ノ目的タル船舶ノ所有者又ハ管理者令第九條ノ規定ニ依リ當該船舶ノ引渡ヲ爲ス場合ニ於テハ様式第二號ニ依ル船舶明細書二通ヲ當該官吏ニ提出スベシ

第九條 當該官吏令第十一條第一項ノ規定ニ依リ受領調書ヲ作成スル場合ニ於テハ當該船舶ノ所有者又ハ管理者ヲシテ立會ハシムベシ但シ已ムヲ得ザル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第十條 受領調書ニハ左ノ事項ヲ記載シ之ヲ二通作成シ當該官吏及其ノ作成ニ立會ヒタル所有者又ハ管理者各通ニ記名捺印スベシ

- 一 受領シタル船舶ノ名稱及番號

(連十)

(連十)

二 受領シタル船舶ノ所有者又ハ管理者ノ住所及名

三 受領年月日

四 受領シタル場所

五 受領調書ヲ作成シタル年月日

六 其ノ他必要ト認ムル事項

第十一條 遞信大臣ハ船舶ノ引渡ヲ受ケタル當該官吏ヲシテ當該引渡ノ時期及場所ニ於テ當該船舶ヲ船舶運營會ニ引渡サシム

當該官吏前項ノ規定ニ依リ船舶運營會ニ對シ船舶ノ引渡ヲ爲ス場合ニ於テハ船舶明細書及受領調書ノ謄本ヲ船舶運營會ニ交付スベシ

第十二條 遞信大臣ノ船舶運營會ニ對スル被使用船舶ノ貸付ハ前條第一項ノ規定ニ依ル引渡アリタルトキヨリ開始セララルモノトス

第十三條 遞信大臣ノ船舶運營會ニ對スル被使用船舶ノ貸付ハ左ニ掲グル場合ニ於テ終了スルモノトス

- 一 第十四條第二項ノ規定ニ依ル返還アリタルトキ
- 二 被使用船舶ガ沈没シ又ハ捕獲セラレタルトキ
- 三 被使用船舶ノ存否ガ遞信大臣ノ指定スル期間ヲ超エテ不明ナルトキ

第十四條 遞信大臣令第十四條第一項ノ規定ニ依リ被使用船舶ヲ返還セントスルトキハ船舶運營會ニ對シ當該船舶ノ返還ヲ命ズ

船舶運營會前項ノ命令ヲ受ケタルトキハ遞信大臣ノ指定スル所ニ依リ當該船舶ヲ返還スベシ

第十五條 令第十四條第一項但書ノ規定ニ依リ返還ノ請求ヲ爲サントスル者ハ返還ノ時期ニ於テ管理者タルコトヲ得ベキ證據ヲ具シタル返還請求書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

第二章 船員徵用

第十六條 遞信大臣令第十八條第一項第一號ニ掲グル船員ヲ徵用セントスルトキハ様式第三號ニ依ル徵用令書ヲ當該船員ノ乗組ム船舶ノ船長ニ送達ス但シ緊急ニシテ之ニ依リ難キ場合ハ至急官報タル電報ニ依ル

徵用令書ノ送達ヲ受ケタル船長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ當該船員ニ通達スベシ

前二項ノ規定ハ令第十八條第一項第二號ニ掲グル船員ノ徵用ニ付之ヲ準用ス但シ船長トアルハ當該船員ヲ雇傭スル船舶所有者又ハ其ノ團體トス

第十七條 遞信大臣同一船舶ニ乗組ム二人以上ノ船員ノ徵用ヲ同時ニ解除セントスルトキハ様式第四號ニ依ル徵用解除令書ヲ當該船舶ノ船長ニ送達ス

前條第一項但書及第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十八條 被徵用船員又ハ徵用ヲ解除セラレタル船員ハ遲滯ナク最寄海務局又ハ海務局支局ニ出

(進十)

六〇八

(進十)

六〇九

頭シ當該令書ヲ呈示シテ船員手帳ニ徵用又ハ徵用解除ノ旨ノ記載ヲ受クベシ

前項ノ手續ハ前二條ノ規定ニ依リ令書ノ送達アリタル場合ニ於テハ當該令書ノ送達ヲ受ケタル船長又ハ船舶所有者若ハ其ノ團體船員ニ代リテ之ヲ爲スベシ

第十九條 令第二十三條第一項及第二項但書ノ認可ヲ受ケントスル者ハ様式第五號ニ依ル申請書ニ副本ヲ添ヘ最寄海務局長ニ提出スベシ

第二十條 船舶所有者令第三條第一項ノ規定ニ依ル使用令書ノ送達ヲ受ケタルトキハ當該令書送達ノ際當該船舶ニ乗組中ノ船員ニ付様式第六號ニ依ル届書ヲ、其ノ雇傭スル船員ニシテ豫備員タルモノニ付様式第七號ニ依ル届書ヲ各二通遲滯ナク最寄海務局長又ハ海務局支局長ヲ經由シ遞信大臣ニ提出スベシ

第二十一條 船舶所有者又ハ其ノ團體被徵用船員ニ非ザル船員ヲ豫備員トシテ保有スルニ至リタルトキハ遲滯ナク様式第七號ニ依ル届書二通ヲ最寄海務局長又ハ海務局支局長ヲ經由シ遞信大臣ニ提出スベシ

第二十二條 遞信大臣ハ船舶運營會ガ被徵用船員ニ對シ支給スベキ給料、手當、賞與其ノ他ノ基準ヲ定メ之ヲ告示ス

船舶運營會前項ノ基準ニ依ラズシテ給與ヲ支給セントスルトキハ遞信大臣ノ許可ヲ受クベシ

第二十三條 遞信大臣ノ管理ニ係ル船員ノ衛生及教育訓練ニ關スル施設(以下管理施設ト稱ス)ノ

第十八條關係

經營者又ハ經營管理人當該施設ノ移轉、擴張、縮小若ハ機械器具其ノ他ノ設備ノ變更、讓渡、移動又ハ從業者ノ雇入若ハ解雇ヲ爲スニ當リ其ノ事項ガ當該管理施設ノ經營ニ著シキ影響ヲ及ボスモノナルトキハ豫メ遞信大臣ノ許可ヲ受クベシ

第二十四條 管理施設ノ經營者又ハ經營管理人ハ一月一日、四月一日、七月一日及十月一日現在並ニ管理ノ開始又ハ變更ニ際シ當該期日現在ニ於テ様式第八號ニ依ル現況報告書ヲ該期日後十五日以内ニ遞信大臣ニ提出スベシ

第三章 船舶運營會

第二十五條 遞信大臣令第三十三條第一項ノ規定ニ依リ船舶運營會ノ設立ヲ命ズル場合ニ於テハ構成員タル資格及設立ノ認可ヲ申請スベキ期限ヲ告示ス

前項ノ場合ニ於テ遞信大臣ハ船舶運營會ノ構成員タル資格ヲ有スル者ノ中ヨリ設立委員ヲ命ジ其ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ告示ス

前項ノ告示アリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク創立總會ヲ召集スベシ

第二十六條 創立總會ヲ召集スルニハ構成員タル資格ヲ有スル者ニ對シ少クトモ一週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ示シ召集ノ通知ヲ發スベシ

第二十七條 定款ハ創立總會ニ諮リ設立委員之ヲ定ムベシ

第二十八條 創立總會終結シタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク船舶運營會ノ設立認可ヲ申請スベシ

(連十)

六一〇

前項ノ認可申請書ニハ定款及創立總會ノ議事録ノ謄本ヲ添附スベシ

第二十九條 令第三十六條第二項ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケントスル者ハ認可申請書ニ申請者ノ事業概要ヲ記載シタル書面ヲ添附シ之ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

前項ノ場合ニ於テ申請者法人ナルトキハ其ノ定款並ニ役員ノ氏名及住所ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ

第三十條 總會ヲ召集スルニハ構成員ニ對シ少クトモ一週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ示シ召集ノ通知ヲ發スベシ

第三十一條 船舶運營會ハ第十一條第一項ノ規定ニ依ル船舶ノ引渡ヲ受クベシ

前項ノ引渡ノ際當該船舶ニ存スル燃料、食料其ノ他船舶ノ運航ノ用ニ供スル物資ニ付當該船舶ノ所有者又ハ管理者ノ請求アルトキハ船舶運營會ハ遞信大臣ノ指定スル所ニ依リ之ヲ買取ルベシ

第三十二條 船舶運營會ハ戰爭其ノ他ノ變亂ニ因ル襲撃、捕獲其ノ他ノ事故及商慣習ニ於テ之ニ準ジテ取扱ハルル事故ニ因ル損害ニ付遞信大臣ノ指定スル所ニ依リ被使用船舶ヲ海上保險ニ付スベシ普通海上保險契約ニ於ケル航路定限以外ノ航海ニ基ク事故ニ因ル損害ニ付亦同ジ

第三十三條 船舶運營會其ノ運航スル船舶ニ付修繕又ハ改造ノ必要アリト認ムルトキハ之ヲ遞信大臣ニ具申スベシ

第三十四條 船舶運營會其ノ運航スル船舶ニ付滅失、毀損其ノ他ノ事故アリタルトキハ遲滯ナク其ノ事情及狀況ヲ遞信大臣ニ報告スベシ

第三十五條 船舶運營會ハ遞信大臣ノ指定スル期日毎ニ様式第九號ニ依ル船舶動靜報告書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

第三十六條 船舶運營會ハ様式第十號ニ依ル毎月ノ運送實績報告書ヲ翌月十五日迄ニ遞信大臣ニ提出スベシ

第三十七條 船舶運營會令第四十六條ノ規定ニ依リ被徵用船員ニ對シ職務ニ關スル指示ヲ爲サントスルトキハ遞信大臣ノ定ムル基準ニ依ルベシ

第三十八條 船舶運營會ノ運航スル船舶ガ陸軍官憲又ハ海軍官憲ニ使用セラルルニ至リタルトキハ船舶運營會ハ被徵用船員ニシテ當該船舶ニ乗組マシムベキ者ニ付様式第十一號ニ依ル報告書

二通ヲ最寄海務局長又ハ海務局支局長ヲ經由シ遞信大臣ニ提出スベシ

第三十九條 令第四十七條第一項ノ規定ニ依リ被使用船舶ノ所有者ニ對シ船舶運營會ガ支拂フベキ金額竝ニ其ノ支拂ノ條件及方法ハ遞信大臣之ヲ告示ス

第四十條 業務規程ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ
一 運送契約ニ關スル規定
二 運送業務ノ執行ニ關スル規定

(連十) 六一一

三 船員ニ關スル業務ノ執行ニ關スル規定

四 其ノ他船舶運營會ノ業務執行ノ爲必要ナル規定

第四十一條 令第五十一條ノ規定ニ依リ船舶運營會ガ運航實務者ヲシテ處理セシムベキ事務ノ範圍及運航實務者ヲシテ取扱ハシムベキ船舶竝ニ運航實務者ニ對シ支拂フベキ事務處理手数料ノ額ハ遞信大臣船舶運營會ニ之ヲ告知ス

第四十二條 船舶運營會ノ剩餘金ノ處分ハ遞信大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第四十三條 船舶運營會借入金ヲ爲サントスルトキハ遞信大臣ノ認可ヲ受クベシ

第四十四條 船舶運營會ハ每事業年度ノ收支豫算ヲ定メ遞信大臣ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第四十五條 船舶運營會ハ每事業年度ニ於ケル事業報告書(財産目錄及貸借對照表ヲ含ム)及收支決算書ヲ作成シ遞信大臣ノ認可ヲ受クベシ

第四十六條 令第六十一條第一項ノ規定ニ依リ令第二條又ハ令第四十五條第一項ノ規定ニ依ル處分ニ因リ生ズベキ損失ノ補償ヲ爲スハ左ノ各項ニ依ル

令第二條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタル場合ニ於テハ當該處分ニ依リ被使用船舶ノ所有者ガ蒙リ

第十八條關係

(連十) 六一三

タル損失ニシテ左ニ掲グルモノヲ補償ス但シ當該船舶ニ付第三十二條ノ規定ニ依リ海上保險ヲ付シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

一 戰爭其ノ他ノ變亂ニ因ル被使用船舶ノ沈没、破損又ハ捕獲ニ基ク損失

二 被使用船舶ヲ目的トスル普通海上保險契約ニ於ケル航路定限以外ノ航海ニ因ル沈没又ハ破

損ニ基ク損失

三 前二號ニ掲グルモノノ外遞信大臣ニ於テ補償ノ必要アリト認ムル損失

令第四十五條第一項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタル場合ニ於テハ當該處分ニ因リ船舶運營會ガ蒙

リタル損失ニシテ左ニ掲グルモノヲ補償ス

一 戰爭其ノ他ノ變亂ノ場合ニ於テ危險區域ニ於ケル航海又ハ人若ハ物ノ運送ヲ爲シ因リテ蒙

リタル損失ニシテ特別費用其ノ他遞信大臣ニ於テ補償ノ必要アリト認ムルモノ

二 前號ニ掲グルモノノ外遞信大臣ニ於テ補償ノ必要アリト認ムル損失

第四十七條ノ損失ノ補償ヲ請求セントスル者ハ令第二條及令第四十五條第一項ノ規定ニ依ル處分

ノ場合ニ在リテハ前條ニ規定スル損失ノ原因タル事實發生ノ日ヨリ六月以内ニ、令第二十七條

ノ規定ニ依ル管理ノ場合ニ在リテハ管理廢止ノ後六月以内ニ損失補償請求書ヲ遞信大臣ニ提出

スベシ

令第二十七條ノ規定ニ依ル管理ノ期間一年ヲ超ユルモノナルトキハ各一年又ハ其ノ端數ノ期間

(連十)

六一四

(連十)

六一五

毎ニ分割シ損失補償請求書ヲ提出スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ請求書ハ當該期間滿了後各六月以内ニ之ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

第四十八條 損失補償請求書ニハ左ノ各項ノ區別ニ依リ必要事項ヲ記載スベシ

令第二條ノ規定ニ依ル處分ニ因ル損失補償請求書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 船舶ノ名稱及番號

二 補償請求ノ事由

三 補償請求額

四 其ノ他必要ト認ムル事項

令第二十七條ノ規定ニ依ル處分ニ因ル損失補償請求書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 當該施設ノ表示

二 管理開始ノ時期、管理ノ期間及請求ノ基礎トナリタル期間

三 補償請求ノ事由

四 補償請求額

五 其ノ他必要ト認ムル事項

令第四十五條第一項ノ規定ニ依ル處分ニ因ル損失補償請求書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 當該航海又ハ運送ノ表示

二 補償請求ノ事由

三 補償請求額

四 其ノ他必要ト認ムル事項

第四十九條 損失補償請求書ニハ損失補償額算出明細書ヲ添付スベシ

前項ノ添附書類ノ外遞信大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ求ムルコトアルベシ

第五十條 令第六十二條ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨時検査ニ付携帯セシムベキ證票ハ様式第

十二號ニ依ル

第五十一條 第二十三條ニ定ムル遞信大臣ノ職權ハ海務局長ヲシテ之ヲ行ハシム

附則

本令ハ戰時海運管理令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

様式第一號(用紙ノ大サハ日本標準規格A7トシ中央點線ノ所ヨリ二ツ折ト爲ス)

(表面)

(追十)

(追十)

戰時海運管理令第十條ノ規定ニ依ル證票

第十八條關係

(裏面)

第 號 昭和 年 月 日交付

官 職 氏 名

遞信省又ハ海務局印

國家總動員法第十三條第一項 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ

(連十) 六一八

(連十) 六一九

定ムル所ニ依リ總動員業務タル事業ニ屬スル工場、事業場、船舶其ノ他ノ施設又ハ之ニ轉用スルコトヲ得ル施設ノ全部又ハ一部ヲ管理使用又ハ收用スルコトヲ得

國家總動員法第三十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

四 第十三條ノ規定ニ依ル施設、土地若ハ工作物ノ管理、使用若ハ收用又ハ從業者ノ供用ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者

戰時海運管理令第十條 遞信大臣ハ當該官吏ヲシテ使用ノ目的タル般船ノ引渡ヲ受ケシムルモノトス

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ引渡ヲ受ケシムル場合ニ於テハ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

戰時海運管理令施行規則第七條 令第十條第二項ノ證票ハ様式第一號ニ依ル

様式第二號(用紙ノ大サハ日本標準規格B4)

船名	船種	船番號	所有者ノ住所及名	資格及級	昭和 年 月 日現在
(振假名ヲ附スルコト)					

第十八條關係

備考	保險船費	保險價額	圓金額	圓保險料率	填補ノ範圍	保險者名	被保險者名

記載心得

- (1) 記載スベキ事項ナキ欄ニハ斜線ヲ施スコト
- (2) 米單位ノモノハ小數以下二位迄、以下四捨五入スルコト
- (3) 漁船ニ在リテハ航行區域欄ニ從業制限ヲ記載スルコト
- (4) 用途欄ニハ旅客船、貨客船、貨物船、油輪船等ノ別ヲ記載スルコト
- (5) 使用航路欄ニハ從來主トシテ就航シタル定期航路又ハ區域ヲ記載スルコト
- (6) 構造種類欄ニハ鋼船ニ在リテハ重構船、輕構船、全通船、遮浪甲板船、木船ニ在リテハ重甲板船、輕甲板船ノ別ヲ記載スルコト
- (7) 尺度ハ船舶國籍證書ニ依リ記載スルコト
- (8) 汽機ノ種類ハ「タービン」汽機、三聯成汽機、廢汽「タービン」附在復動汽機等ノ如ク記載スルコト

(與十) 六二二二

(與十) 六二二二

- (9) 發動機ノ種類ハ燒球式發動機(二衝程單動二箇)、「ディーゼル」式發動機(二衝程往復動二箇)等ヲ、其ノ型式ハ無注水式、「ズルツアー」型空氣噴油式等ノ如ク記載スルコト
- (10) 特殊設備欄ニハ貨物用冷蔵庫、「ディープ、タンク」船舶保護ノ爲必要ナル設備等ノ有無及其ノ概要ヲ記載スルコト
- (11) 備考欄ニハ政府助成施設ニ依ル助成船タルコト其ノ他參考ト爲ルベキ事項ヲ記載スルコト

標式第三號(用紙ハ白色) 大サハ日本標準規格A4 (表面)

徵發 用付 令番 書號	徵用令書 所屬	何某外 名(氏名別冊ノ通)
第 號	昭和 年 月 日	年 月 日
	遞信大臣	氏 名 印

徵發	受領證
用付	一徵用令書 (昭和 年 月 日發付 第 號)
令番	右受領ス
書號	昭和 年 月 日
第	氏 名 宛
號	氏 名 宛

(裏面)

徵用令書ノ送達ヲ受ケタル者ノ心得
 徵用令書ノ送達ヲ受ケタル船長又ハ船舶所有者若ハ其ノ團體ハ本令書ニ添附シタル受領證ニ受領年月日ヲ記入シ記名捺印ノ上直ニ之ヲ返付スベシ
 (參照)
 戰時海運管理令施行規則第十六條 遞信大臣令第十八條第一項第一號ニ掲グル船員ヲ徵用セントスルトキハ様式第三號ニ依ル徵用令書ヲ當該船員ノ乘組ム船舶ノ船長ニ送達ス但シ緊急ニシテ之ニ依リ難キ場合ハ至急官報タル電報ニ依ル

(連十) 六二四

徵用令書ノ送達ヲ受ケタル船長ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ當該船員ニ通達スベシ
 前二項ノ規定ハ令第十八條第一項第二號ニ掲グル船員ノ徵用ニ付之ヲ準用ス但シ船長トアルハ當該船員ヲ雇傭スル船舶所有者又ハ其ノ團體トス

(連十) 六二五

記載心得
 所屬ニハ現ニ乗組中ノ船員ニ付テハ其ノ乘組ム船舶ノ所有者名及當該船舶ノ名稱ヲ、豫備員ニ付テハ雇傭主タル船舶所有者又ハ其ノ團體ノ名ヲ記載スルモノトス
 徵用令書發付番號 第 號別冊

徵用番號	船員手帳番號	氏 名	出生年月日	本籍	職務	備考
第 號	第 號	第 號	年 月 日			
第 號	第 號	第 號	年 月 日			
第 號	第 號	第 號	年 月 日			
第 號	第 號	第 號	年 月 日			
計		名	年 月 日			

様式第四號(用紙ハ白色、大サハ日本標準規格A4)
 (表面)

第十八條關係

徵用發 用番 除令 解號	第 號	徵用解除令書 所屬	何某外 氏名(氏名別冊ノ通)
右ノ者昭和	年	月	日
徵用ヲ解除ス	昭和	年	月
			日
			遞信大臣氏
			名 印

徵用發 用番 除令 解號	第 號	受領證	日發付	第	號
一徵用解除令書	(昭和	年	月	日	第
右受領ス	昭和	年	月	日	第
	遞信大臣	氏			名 印

(連十) 六二六

(裏面)

(連十) 六二七

徵用解除令書ノ送達ヲ受ケタル船長ノ心得

徵用解除令書ノ送達ヲ受ケタル船長ハ本令書ニ添附シタル受領證ニ受領年月日ヲ記入シ記名捺印ノ上直ニ之ヲ返付スベシ

(参照)

戰時海運管理令施行規則第十六條 遞信大臣令第十八條第一項第一號ニ掲グル船員ヲ徵用セントスルトキハ様式第三號ニ依ル徵用令書ヲ當該船員ノ乗組ム船舶ノ船長ニ送達ス但シ緊急ニシテ之ニ依リ難キ場合ハ至急官報タル電報ニ依ル

徵用令書ノ送達ヲ受ケタル船長ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ當該船員ニ通達スベシ

前二項ノ規定ハ令第十八條第一項第二號ニ掲グル船員ノ徵用ニ付之ヲ準用ス但シ船長トアルハ當該船員ヲ雇傭スル船舶所有者又ハ其ノ團體トス

戰時海運管理令施行規則第十七條 遞信大臣同一船舶ニ乗組ム二人以上ノ船員ノ徵用ヲ同時ニ解除セントスルトキハ様式第四號ニ依ル徵用解除令書ヲ當該船舶ノ船長ニ送達ス

前條第一項但書及第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

記載心得

第十八條關係

所屬ニハ徵用ヲ解除セラルベキ船員ノ乗組ム船舶ノ所有者名及當該船舶ノ名稱ヲ記載スルモノトス

徵用解除令書發付番號

第

號別冊

徵用番號	船員手帳番號	氏名	職	務	備	考
第 號	第 號					
第 號	第 號					
第 號	第 號					
第 號	第 號					
第 號	第 號					
計						

様式第五號(用紙ノ大サハ日本標準規格B5)

昭和 年 月 日

申請者氏

名印

(追十) 六二八

(追十) 六二九

海務局長 氏 名 宛		職 務		職 務		職 務	
解 雇		認 可		申 請 書		職 務	
船 所		住 所		氏 名 又 ハ 名 稱		現 在 所	
船 員		被 徵 用		船 員 手 帳 番 號		徵 用 番 號	
第 號		第 號		第 號		第 號	
申 請 ノ 事 由		氏 名 及 勤 務		出 生 年 月 日 及 期 間		職 務 給 料、手 當(月 額)	
退 職 認 可 又 ハ 雇 傭 關 係 不 存 續 認 可 ア リ タ ル 後 ノ 被 徵 用 船 員 ノ 就 職 豫 定 先(又 ハ 居 住 豫 定 地)		退 職 認 可 又 ハ 雇 傭 關 係 不 存 續 認 可 ア リ タ ル 後 ノ 被 徵 用 船 員 ノ 就 職 豫 定 先(又 ハ 居 住 豫 定 地)		退 職 認 可 又 ハ 雇 傭 關 係 不 存 續 認 可 ア リ タ ル 後 ノ 被 徵 用 船 員 ノ 就 職 豫 定 先(又 ハ 居 住 豫 定 地)		退 職 認 可 又 ハ 雇 傭 關 係 不 存 續 認 可 ア リ タ ル 後 ノ 被 徵 用 船 員 ノ 就 職 豫 定 先(又 ハ 居 住 豫 定 地)	

記載心得

一 解雇、退職、雇傭關係不存續ノ文字ハ該當セザルモノヲ抹消スルコト

第十八條關係

- 二 勤績期間欄ニハ當該船舶所有者又ハ其ノ團體ニ於ケル勤績期間ヲ記入スルコト
- 三 申請ノ事由欄ニハ解雇、退職等ヲ爲サントスル理由ヲ詳細ニ記載スルコト尙理由ヲ證スベキ書類アルトキハ之ヲ添附又ハ提示スルコト

様式第六號(用紙ノ大サハ日本標準規格B4)

昭和 年 月 日		届出者住所及氏 名 宛	
遞信大臣 氏 名 宛			
戰時海運管理令施行規則第二十條ノ規定ニ依ル乗組船員届書			
船舶引渡ノ時期及場所	昭和 年 月 日	使用令書ノ送達ヲ受ケタル年月日	昭和 年 月 日
徵用番號	船員手帳番號	氏 名	出生年月日
第 號	第 號	本 籍	職 務
第 號	第 號	備 考	
第 號	第 號	年 月 日 生	年 月 日 生
第 號	第 號	船 種、船 名	總噸數
第 號	第 號	船 丸	噸

(連十) 六三〇

(連七) 六三一

計	第 號	第 號	年 月 日 生	年 月 日 生
	第 號	第 號		
	第 號	第 號		
	第 號	第 號		

記載心得

- 一 船舶引渡ノ時期及場所欄ハ使用令書ニ依リ記載スルコト
 - 二 氏名ノ記載順序ハ甲板部、機關部、無線通信部、事務部ノ順トシ同一部ニ屬スル者ノ間ニ在リテハ職掌ノ順位ニ依ルコト
 - 三 乗組員中船員法第一條第二項ニ掲グル者及船員徵用令第十九條ニ掲グル者ハ本届書ニ記載セザルコト
 - 四 徵用番號欄ハ空欄ト爲シ置クコト
- 様式第七號(用紙ノ大サハ日本標準規格B4又ハ其ノ半折)

昭和 年 月 日	届出者住所及氏 名 宛
遞信大臣 氏 名 宛	
戰時海運管理令施行規則第二十條及第二十一條ノ規定ニ依ル豫備員届書	
徵用令書希望送付先及令書ヲ受領スベキ責任者ノ氏名	

施設竣工年月日	年	月	日	經營開始年月日	年	月	日
診療科名							
經營狀況	月		月		月		月
收支ノ概要	區分	收	入	支	出	過	(不足)
	月別	月	月	月	月	月	月
	月	月	月	月	月	月	月
其ノ他參考ト爲ルベキ事項							

記載心得

- (1) 戸建別欄ニハ一戸建又ハ二戸建等ノ如ク記載スルコト
- (2) 建物ノ構造欄ニハ木造、鐵筋「コンクリート」建等ノ如ク區別シ記載スルコト
- (3) 建坪欄及延坪欄ニハ附屬設備タル物置等ノ建物ノ建坪及延坪ヲ含メテ記載スルコト
- (4) 室數欄ニハ衛生施設ニ在リテハ病室數及延坪數ヲ、教育訓練施設ニ在リテハ教室數及

(興十) 水川四

(興十) 水川甲

延坪數ヲ記載スルコト

- (5) 職員ノ異動數欄ニハ前回報告以後異動アリタル職員ノ員數ヲ記載スルコト
- (6) 職務別員數欄ニハ衛生施設ニ在リテハ醫師、藥劑師、看護婦等ノ員數ヲ、教育訓練施設ニ在リテハ教員、事務員等ノ員數ヲ記載スルコト
- (7) 最大收容員數欄ニハ衛生施設ニ在リテハ患者數ヲ、教育訓練施設ニ在リテハ生徒數ヲ記載スルコト
- (8) 經營開始年月日欄ニハ現經營者ノ經營開始年月日ヲ記載スルコト
- (9) 診療科名欄ニハ内科、外科、産婦人科、小兒科、産科、耳鼻咽喉科等ノ區別ヲ記載スルコト
- (10) 經營狀況欄ニハ衛生施設ニ在リテハ當該期間ニ於ケル受診者、入院患者、通院患者等ノ月別總數ヲ、教育訓練施設ニ在リテハ學級別收容生徒數、養成修了者數ヲ記載スルコト
- (11) 收支ノ概要欄ニハ前回報告以後ノ分ヲ記載スルコト
- (12) 其ノ他參考ト爲ルベキ事項欄ニハ衛生施設ニ在リテハ「レントゲン」裝置、太陽燈等ノ設備ニ付、教育訓練施設ニ在リテハ之ニ關スル設備ニ付前回報告以後變更アリタルモノノ中主ナルモノヲ記載スルコト
- (13) 不要ノ字句又ハ欄ニハ斜線ヲ施スコト

(裏面)

第 號 昭和 年 月 日交付

官

職

氏

名

遞信省又ハ海務局印

(連十)

(連十)

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場合ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

國家總動員法第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

戰時海運管理令第六十二條 遞信大臣又ハ海務局長必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ使用セントスル船舶ノ所有者若ハ管理者遞信大臣ノ管理ニ係ル船員ノ衛生及教育訓練ニ關スル施設ノ經營者又ハ船舶運營會ヨリ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ事務所、營業所、船舶其ノ他必要ナル場合ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類、設備其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

戰時海運管理令施行規則第五十條 令第六十二條ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査ニ付携帶セシムベキ證票ハ様式第十二號ニ依ル

第十八條關係

戰時海運管理令ニ基ク船舶運營會ノ登記及清算ニ關スル

件

(昭和十七年三月二十五日)
逓信省令第二號
司法

第一章 登記

第一條 戰時海運管理令第三十三條ノ規定ニ基キ船舶運營會成立シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ左ニ掲グル事項ヲ登記スルコトヲ要ス

一 目的

二 名稱

三 事務所

四 成立ノ年月日

五 總裁、理事長及理事ノ氏名及住所

前項ニ掲グル事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ變更ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二條 船舶運營會成立ノ後新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ其ノ事務所ノ所在地ニ於テハ前條第一項ニ掲グル事項ヲ登記スルコトヲ要ス但シ既ニ存スル事務所ノ所在地ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ其ノ事務所ヲ設ケタルコトヲ登記スルヲ以テ足ル

(追十) 六四四

(追十) 六四五

第三條 船舶運營會ガ事務所ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ移轉ノ登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ第一條第一項ニ掲グル事項ヲ登記スルコトヲ要ス但シ同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタルトキハ其ノ移轉ノ登記ヲ爲スヲ以テ足ル

第四條 船舶運營會ノ解散ノ命令アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ解散ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第五條 船舶運營會ノ清算人ノ選任アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ清算人ノ氏名及住所ヲ登記スルコトヲ要ス

第一條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六條 船舶運營會ノ清算終了シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ清算終了ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第七條 船舶運營會ノ登記ニ付テハ其ノ事務所ノ所在地ノ區裁判所ヲ以テ管轄登記所トス
前項ノ登記ハ統制團體登記簿ニ之ヲ爲ス

第八條 第一條乃至第四條ノ規定ニ依ル登記ハ逓信大臣ノ囑託ニ因リテ之ヲ爲ス

第五條及第六條ノ規定ニ依ル登記ハ裁判所ノ囑託ニ因リテ之ヲ爲ス

第九條 登記シタル事項ハ裁判所遲滞ナク之ヲ公告スルコトヲ要ス

第十條 非訟事件手續法第二百二十五條第一項(第五百十條、第五百十條ノ三及第七十七條ヲ準

第十八條關係

用スル部分ヲ除クノ規定ハ船舶運營會ノ登記ニ之ヲ準用ス

一一二

第二章 清算

第十一條 船舶運營會ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

第十二條 遞信大臣船舶運營會ノ解散ヲ命ジタル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ主タル事務所ノ所在地ノ

區裁判所ニ通知スベシ

前項ノ通知アリタルトキハ裁判所ハ職權ヲ以テ清算人ヲ選任ス

裁判所必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ清算人ヲ解任スルコトヲ得

裁判所清算人ヲ選任又ハ解任シタルトキハ其ノ旨ヲ遞信大臣ニ通知スベシ

第十三條 清算人ハ船舶運營會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第十四條 清算人ハ清算及財産處分ノ方法ヲ定メ裁判所ノ認可ヲ受クベシ

裁判所必要アリト認ムルトキハ清算人ニ對シ清算及財産處分ノ方法ノ變更其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十五條 遞信大臣ハ裁判所ニ對シ清算ニ關シ意見ヲ述ブルコトヲ得

第十六條 船舶運營會ノ清算結了シタルトキハ裁判所ハ其ノ旨ヲ遞信大臣ニ通知スベシ

第十七條 民法第七十九條、第八十條及第八十二條第二項並ニ非訟事件手續法第三十五條第二項、

第三十六條及第三十七條ノ二ノ規定ハ船舶運營會ノ清算ニ之ヲ準用ス

(追十) 六四六

附則

本令ハ戰時海運管理令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(追十一) 八三一

戰時海運管理令ニ依ル被徵用船員等ニ對スル一時金支給

規則

(昭和十七年四月一日
遞信省令第六十二號)

第一條 戰時海運管理令第二十五條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 一時金ハ障害一時金及死亡一時金ノ二種トシ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ支給ス

一 障害一時金ハ被徵用船員船舶運營會ノ運航スル船舶ニ乗組ミ職務ニ從事中戰鬪行爲又ハ之ニ準ズベキ危険ニ遭遇シ因リテ傷痍ヲ受ケ又ハ病疾ニ罹リ當該傷痍疾病ノ治癒シタル時ニ於テ仍身體ニ障害ヲ存スルトキ又ハ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタル日ヨリ起算シ九月ヲ經過スルモ治癒セザルトキ本人ニ之ヲ支給ス

二 死亡一時金ハ被徵用船員船舶運營會ノ運航スル船舶ニ乗組ミ職務ニ從事中戰鬪行爲又ハ之ニ準ズベキ危険ニ遭遇シ因リテ死亡シタルトキ又ハ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ之ニ起因シテ三年以内ニ死亡シタルトキ其ノ遺族ニ之ヲ支給ス

前項第一號後段ノ規定ニ該當スル場合ニ於テ障害一時金ノ支給ヲ爲シタルトキハ以後本令ニ依ル一時金ハ之ヲ支給セズ

被徵用船員重大ナル過失ニ因リ傷痍ヲ受ケ、疾病ニ罹リ又ハ死亡シタル場合ニ於テハ障害一時金又ハ死亡一時金ハ之ヲ支給セザルコトヲ得

第三條 障害一時金及死亡一時金ノ額ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四條 障害一時金ヲ受ケタル者第二條第一項第二號後段ノ規定ニ該當スルニ至リタル場合ニ於テ其ノ遺族ニ對シテハ本人ノ受ケタル障害一時金ノ額ガ其ノ遺族ニ支給スベキ死亡一時金ノ額ヨリ少額ナルトキハ其ノ差額ヲ支給スルヲ以テ足り其ノ遺族ニ支給スベキ死亡一時金ノ額以上ナルトキハ之ヲ支給セズ

第五條 障害一時金ヲ受ケタル者傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル日ヨリ起算シ三年以内ニ當該傷痍疾病ノ再發ニ因リ身體障害ノ程度ヲ加重シタルトキハ障害一時金ノ額ニ新ニ之ヲ定メ既ニ支給シタル障害一時金ノ額ヲ控除シテ之ヲ支給ス

第六條 戰時海運管理令第二十五條ノ遺族トハ本人ノ妻、子、夫、父、母、孫、祖父、祖母及兄弟姉妹ニシテ本人死亡ノ當時ヨリ引續キ之ト同一戸籍内ニ在ルモノ、本人死亡當時實家又ハ本家ニ在ル實父母、指定又ハ選定家督相續人並ニ本人ノ死亡當時屬シタル家ノ戸主又ハ其ノ家ヲ相續シタル戸主ヲ謂フ本人ノ死亡後二年以内ニ昭和十五年法律第四號（委託又ハ郵便ニ依ル戸籍届出ニ關スル法律）ノ適用ヲ受ケ本人死亡ノ當時ヨリ引續キ之ト同一戸籍内ニ在ル妻、子、夫、父、母、孫、祖父、祖母及兄弟姉妹ト爲ルニ至リタル者ニ付亦同ジ

届出ヲ爲サザルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル者ハ前項ノ規定ノ適用ニ付テハ同一戸籍内ニ在ル妻又ハ夫ト看做ス本人死亡當時胎兒タル子又ハ孫出生シタル時ハ第一項ノ規定ノ適用

(追十二) 八三四

(追十二) 八三五

ニ付テハ本人死亡ノ當時之ト同一戸籍内ニ在リタルモノト看做ス

第七條 死亡一時金ヲ受クベキ遺族ノ順位ハ前條第一項ニ掲グル順序ニ依ル

前項ノ規定ニ依ル同順位ノ子又ハ兄弟姉妹ノ間ニ在リテハ其ノ順位ニ付テハ民法第九百七十條第一項ノ規定ヲ準用ス

第一項ノ規定ニ依ル同順位ノ孫ノ間ニ在リテハ其ノ順位ハ左ノ各號ノ規定ニ依ル

一 前項ノ規定ニ依リ先順位者タル者ノ子ハ之ヲ後順位者タル者ノ子ヨリ先ニス

二 前號ノ規定ニ依ル同順位ノ孫ノ間ニ在リテハ民法第九百七十條第一項ノ規定ヲ準用ス

第一項ノ規定ニ拘ラズ父母ニ付テハ養父母ヲ先ニシ實父母ヲ後ニシ祖父母ニ付テハ養父母ノ父母ヲ先ニシ實父母ノ父母ヲ後ニシ父母ヲ後ニシ父母ノ養父母ヲ先ニシ實父母ヲ後ニス

第八條 第六條第一項後段ニ規定スル者ニ死亡一時金ヲ支給スルハ既ニ之ヲ受ケタル者ナキ場合ニ限ル

第九條 死亡一時金ヲ支給スベキ順位ニ在ル遺族左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ死亡一時金ハ其ノ次順位ニ在ル遺族ニ之ヲ支給ス

一 死亡シタルトキ

二 所在不明ナルトキ

三 本人ノ死亡當時屬シタル家ヲ去リタルトキ

四 死刑又ハ無期若ハ六年以上ノ懲役若ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタルトキ

第十八條關係

五 六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ刑ノ執行中又ハ執行猶豫中ニ在ルトキ
前項第二號又ハ第五號ノ場合ニ於テ次順位ニ在ル遺族ナキトキハ其ノ所在分明ト爲リタルトキ
又ハ刑ノ執行ヲ終リ若ハ刑ノ執行ヲ受クルコトナキニ至リタルトキ之ニ死亡一時金ヲ支給スル
コトヲ得

第十條 障害一時金ヲ受ケントスル者ハ左ノ書類ヲ添附シ様式第一號ニ依ル申請書ヲ遞信大臣ニ
提出スベシ

一 傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル事實ヲ認ムルニ足ルベキ現認者ノ現認證明書又ハ船舶運營
會ノ事實證明書

二 傷痍疾病ノ經過ヲ記載シタル書類

三 申請當時ニ於ケル診斷書

四 傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル時ノ職務及給與ノ額ヲ記載シタル書類ニシテ船舶運營會ノ
證明アルモノ

第十一條 死亡一時金ヲ受ケントスル者ハ左ノ書類ヲ添附シ様式第二號ニ依ル申請書ヲ遞信大臣
ニ提出スベシ

一 死亡ノ原因タル事實ヲ認ムルニ足ルベキ現認者ノ現認證明書又ハ船舶運營會ノ事實證明書
二 死亡診斷書又ハ屍體檢案書

三 傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ之ニ起因シテ三年以内ニ死亡シタルトキハ當該傷痍疾病ノ經過
ヲ記載シタル書類

四 戶籍謄本(本人死亡ノ時以後ノ申請者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ)

五 死亡シタル時(徵用ヲ解除セラレタル後死亡シタル者ニ在リテハ徵用解除ノ時)ノ職務及給
與ノ額ヲ記載シタル書類ニシテ船舶運營會ノ證明アルモノ

前項第二號ニ掲グル死亡診斷書又ハ屍體檢案書ヲ添附スルコトヲ得ザル場合ニ於テハ死亡ノ事
實ヲ證スル公ノ證明書ヲ添附スベシ

第十二條 前條ノ規定ニ依リ死亡一時金ノ申請書ヲ提出シタル後第九條第一項各號ニ掲グル事實
發生シタルトキハ次順位ニ在ル遺族ヨリ戶籍謄本其ノ他順位ヲ證スルニ足ル書類及市町村長
(町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズル者)ノ事實ヲ證明スル書類ヲ添附シ様式第二號ニ
依ル申請書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

第十三條 障害一時金又ハ死亡一時金ヲ受クベキ者ガ其ノ受クベキ事由ノ生ジタル日ヨリ起算シ
五年以内ニ請求ヲ爲サザルトキハ當該一時金ハ之ヲ支給セズ

第十四條 船舶運營會ハ其ノ使用シタル被徵用船員又ハ其ノ遺族ニ支給シタル一時金ニ要シタル
費用ヲ遞信大臣ノ定ムル所ニ依リ國庫ニ納入スベシ

第十五條 本令ニ依ル申請書ハ副本ヲ添ヘ一時金ヲ受ケントスル者ノ住所ヲ管轄スル海務局長ヲ

經由スベシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

様式第一號(用紙ノ大サハ日本標準規格B5)

昭和 年 月 日

申請者住所及氏 名印

遞信大臣 氏 名宛

障害一時金申請書

乗組 船舶	番 號	第	號	申 請 事 由
	船種船名	船	丸	
徵用年月日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日		
徵用解除年月日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日		

(追十一) 八三八

(追十一) 八三九

受傷 罹病年月日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	指定郵便局名
治療年月日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	
前回障害一時金 受領年月日及金額	昭和 年 月 日	金	

記載心得

- 一 申請者氏名ニハ徵用中ノ者ニ在リテハ其ノ職務ヲ、徵用ヲ解除セラレタル者ニ在リテハ解除當時ノ職務ヲ肩書スルコト
- 二 前回障害一時金受領年月日及金額欄ニハ既ニ障害一時金ヲ受領シタル場合ニ限り記載スルコト
- 三 申請事由欄ニハ傷痍又ハ疾病ノ原因經過及現狀ノ概要ヲ記載スルコト
- 四 指定郵便局名欄ニハ障害一時金ヲ受領スベキ郵便局名ヲ記載スルコト
- 五 不要ノ字句又ハ欄ニハ斜線ヲ施スコト

様式第二號(用紙ノ大サハ日本標準規格B5)

第十八條關係

昭和 年 月 日
遞信大臣 氏 名宛
死亡一時金申請書

申請者住所及氏 名宛

乗組 番 號	船 種 船 名	船 丸	申 請 事 由	死亡者職務及氏 名	徵用年月日	徵用解除年月日	受傷 罹病年 月 日	障害一時金受領 年月日及金額	死亡年月日
				昭和金 年 月 日	昭和金 年 月 日	昭和金 年 月 日	昭和金 年 月 日	昭和金 年 月 日	昭和金 年 月 日
				死亡者ト申請 者トノ續柄	指定郵便局名				

(追十二) 八四〇

記載心得

- 一 死亡者職務氏名欄中職務ニ付テハ徵用中死亡シタル者ニ在リテハ死亡當時ノ職務ヲ、徵用ヲ解除セラレタル後死亡シタル者ニ在リテハ、徵用解除當時ノ職務ヲ記載スルコト
- 二 障害一時金受領年月日及金額欄ニハ死亡者ガ障害一時金ヲ受領シタル場合ニ限り記載スルコト
- 三 申請事由欄ニハ死亡ノ原因及經過ノ概要ヲ記載スルコト
- 四 指定郵便局名欄ニハ死亡一時金ヲ受領スベキ郵便局名ヲ記載スルコト
- 五 不要ノ字句又ハ欄ニハ斜線ヲ施スコト

(追十二) 八四一

様式第三號(用紙ノ大サハ日本標準規格B5)

昭和 年 月 日

遞信大臣 氏 名宛

申請者住所及氏 名宛

第十八條關係

死亡一時金受領者變更申請書

一一二四

前申請者氏名			申請事由
前申請書提出年月日	昭和 年 月 日		
前申請者トノ申請者			
指定郵便局名			

記載心得

- 一 申請事由欄ニハ前申請者ガ支給ヲ受クルコト能ハザルニ至リタル事由ヲ記載スルコト
- 二 指定郵便局名欄ニハ死亡一時金ヲ受領スベキ郵便局名ヲ記載スルコト

(追十一) 八四二

(追十一) 八四三

戦時海運管理令第二十一條ノ規定ニ依リ船舶運営會ノ被徵用船員ニ支給スベキ給料、手當(退職金ヲ除ク)、賞與其ノ他ノ給與ノ基準左ノ通定メ本日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和十七年五月十一日) 遞信省告示第七百二十四號

- 一 給料、手當其ノ他ノ給與、戦時海運管理令施行ノ際船員給與統制令ノ適用ヲ受ケ現ニ實施中ノ給與ノ準則及協定ハ當分ノ内戦時海運管理令ニ依リ船舶運営會ノ被徵用船員ニ支給スベキ給料、手當其ノ他ノ給與ノ基準トス
- 二 賞與 昭和十五年十一月遞信省告示第三千二百八十三號ニ於テ定ムル船員ニ支給スベキ賞與ノ基準ハ戦時海運管理令ニ依リ船舶運営會ノ被徵用船員ニ支給スベキ賞與ノ基準トス

戰時海運管理令第四十七條ノ規定ニ依リ被使用船舶ノ所有者ニ對シ船舶運營會ガ支拂フベキ金額竝ニ其ノ支拂ノ條件及方法左ノ通定ム
(昭和十七年五月十一日 遞信省告示第七百二十五號)

- 一 支拂フベキ金額(以下使用料ト稱ス)ハ當分ノ内左ノ料率ニ依ル
 - (イ) 汽船ニ對シテハ昭和十五年三月遞信省告示第四百八十二號及同第四百八十四號別表備船料標準率ヲ準用ス
 - (ロ) 機帆船ニ對シテハ前號ニ依ル木造汽船料率ノ五歩引トス
- 二 昭和十七年五月遞信省告示第七百二十四號ヲ以テ定メタル基準ニ依リ船舶運營會ガ被徵用船員ニ對シ支給スベキ給料、手當、賞與其ノ他ノ給與及法令又ハ慣習ニ依リ從來船舶所有者ノ負擔ニ屬シタル船員ノ食料、船員保險料、療養費其ノ他ノ給付ハ使用料中ニ含マルモノトス但シ船舶運營會ニ於テ特ニ必要アリト認メ乘船セシメタル船員(特定事務部員)ニ對シテ支給スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
- 三 使用料ハ使用開始ノ日時ヨリ起算シ使用期間ノ滿了又ハ使用ノ廢止ニ至ル迄全期間ニ對シテ之ヲ支拂フ
船舶ノ改造、修繕、入渠、検査等ノ事由ニ因ル運航不能期間及陸海軍官憲ニ依ル使用期間ニ對シ

(追十二) 八四四

(追十二) 八四五

- シテハ使用料ヲ支拂ハズ但シ戰爭其ノ他ノ變亂ニ基ク事故ニ因リ生ジタル一時的運航不能期間ニ對シテハ使用料ノ六割ヲ支拂フ
- 四 使用料ハ一月分宛支拂フモノトシ一月ニ滿タザルトキハ其ノ使用シタル月ノ日數ニ應ジ日割計算トス尙一日(二十四時間)未滿ノ端數ハ時間割計算トシ一時間未滿ノ端數ハ切捨トス
- 五 使用料ハ毎月五日迄ニ其ノ月分ヲ支拂フ

戰時海運管理令ニ依ル被使用船舶ニ施設シタル私設無線
電信無線電話ノ施設者ノ名義ハ當該船舶ノ使用期間中船
舶運營會ニ變更シタルモノト看做ス
本告示ハ本日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和十七年五月二十五日)
遞信省告示第八百三號

金融統制團體令

(昭和十七年四月十八日)
勅令第四百四十號

第一章 總則

第一條 國家總動員法第十八條ノ規定ニ基ク金融事業(有價證券ニ關スル事業ヲ含ム以下同ジ)ノ
統制ヲ目的トスル團體ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本令ニ依ル團體ハ全國金融統制會、業態別統制會、統制組合及地方金融協議會トス
全國金融統制會ハ全國金融統制會ナル名稱ヲ用フベシ

業態別統制會、統制組合又ハ地方金融協議會ハ其ノ名稱中ニ各統制會、統制組合又ハ金融協議
會ナル文字ヲ用フベシ但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二章 全國金融統制會

第三條 全國金融統制會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲金融事業ノ機能ノ綜合的
發揮ヲ圖ルニ必要ナル指導統制ヲ行ヒ且金融ニ關スル國策ノ立案及遂行ニ協力スルコトヲ目的
トス

第四條 全國金融統制會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ掲ゲル事業ヲ行フ

- 一 金融ニ關スル政府ノ計畫ニ對スル參畫
- 二 金融事業ヲ營ム者ノ行フ資金ノ吸收及運用ニ關スル指導統制

第十八條關係

- 三 金融事業ノ整備ノ促進
 - 四 金融事業ノ機能ノ増進
 - 五 金融事業ト産業トノ關係ノ緊密化ノ促進
 - 六 金融事業ニ關スル調査及研究
 - 七 前各號ニ掲グルモノノ外全國金融統制會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業
- 全國金融統制會ハ前項ノ事業ノ外命令ノ定ムル所ニ依リ業態別統制會ノ會員ニ非ザル統制組合ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノ及地方金融協議會ノ事業ノ指導統制ヲ行フ
- 第五條 全國金融統制會ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者トス
- 一 日本銀行
 - 二 業態別統制會
 - 三 前二號ニ掲グル者ノ外金融事業ヲ營ム者ニシテ主務大臣ノ指定スルモノ

第六條 主務大臣全國金融統制會ヲ設立セシメントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リ會員タル資格ヲ有スル者ニ對シ全國金融統制會ノ設立ヲ命ズベシ

前項ノ規定ニ依ル全國金融統制會ノ設立ノ命令アリタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ創立總會ヲ開キ之ニ諮リテ定款其ノ他全國金融統制會ノ設立ニ必要ナル事項ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

(追十二) 八四八

第七條 全國金融統制會ノ定款ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

- 一 目的
 - 二 名稱
 - 三 事務所ノ所在地
 - 四 會員ニ關スル規定
 - 五 事業及其ノ執行ニ關スル規定
 - 六 役員ニ關スル規定
 - 七 會議ニ關スル規定
 - 八 經理ニ關スル規定
- 第八條 全國金融統制會ハ第六條第二項ノ認可アリタル時又ハ國家總動員法第十八條第三項ノ規定ニ依リ定款ノ作成アリタル時成立ス
- 前項ノ場合ニ於テハ主務大臣ハ全國金融統制會成立ノ旨及定款ヲ告示スベシ
- 第九條 全國金融統制會成立シタルトキハ其ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ總テ全國金融統制會ノ會員トス

(追十二) 八四九

第十條 全國金融統制會ニハ會長一人並ニ理事、監事及評議員各若干人ヲ置クベシ

全國金融統制會ニハ前項ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ副會長二人以内又ハ理事長一人ヲ置

第十八條關係

クコトヲ得

第十一條 會長ハ全國金融統制會ヲ代表シ金融事業ノ指導統制其ノ他ノ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ輔佐シ豫メ會長ノ定ムル順位ニ依リ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ會長
缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事長ハ會長及副會長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ會長及副會長共ニ事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代
理シ會長及副會長共ニ缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ

理事ハ會長、副會長及理事長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ豫メ會長ノ定ムル順位ニ依リ會長、副會長
及理事長共ニ事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長、副會長及理事長共ニ缺員ノトキハ會長
ノ職務ヲ行フ

監事ハ全國金融統制會ノ經理ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ會長ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會長ニ對シ意見ヲ具申ス

第十二條 會長ハ日本銀行總裁ヲ以テ之ニ充ツ

副會長、理事長、理事及監事ハ金融事業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ主務大臣之ヲ
命ズ

評議員ハ金融事業又ハ産業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ主務大臣之ヲ命ズ

主務大臣第二項ノ規定ニ依リ副會長、理事長又ハ理事ヲ任命シタルトキハ其ノ旨ヲ告示ス

(追十二) 八五〇

ベシ

第十三條 副會長、理事長及理事ノ任期ハ三年、監事及評議員ノ任期ハ二年トス

第十四條 副會長、理事長及理事ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ他ノ職務又ハ商業ニ從事
スルコトヲ得ズ但シ日本銀行ノ職員タルコトヲ妨ゲズ

第十五條 全國金融統制會ハ金融事業ニ關スル事項ニ付主務大臣ニ建議スルコトヲ得

全國金融統制會ハ主務大臣ノ諮問ニ對シ答申スベシ

第十六條 全國金融統制會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員、業態別統制會ノ會員、業態別統制
會ノ會員タル統制組合ノ組合員、第四條第二項ノ命令ヲ以テ定ムル統制組合又ハ地方金融協議
會ニ對シ金融事業ニ關スル事項ノ調査ヲ爲ス爲必要ナル資料ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ資料ノ提出ヲ求メラレタル者ハ遲滞ナク之ヲ提出スベシ

第十七條 全國金融統制會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ賦課金ヲ課スルコトヲ得

第十八條 全國金融統制會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款又ハ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ過
怠金ヲ課スルコトヲ得

第十九條 賦課金又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ全國金融統制會ノ請求アルトキハ市町
村ハ市町村税ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ全國金融統制會ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四
ヲ市町村ニ交付スベシ

第十八條關係

(追十二) 八五一

前項中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキモノトス
第一項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ徵收金ニ次ギ
其ノ時効ニ付テハ市町村税ノ例ニ依ル

第二十條 全國金融統制會ハ其ノ會員ノ事業ニ關スル統制規程ヲ設定スベシ

第二十一條 定款ノ變更並ニ統制規程ノ設定及變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效
力ヲ生ゼズ

主務大臣前項ノ認可ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第二十二條 全國金融統制會ノ會員ハ全國金融統制會ノ統制規程ニ依ルベシ

第二十三條 全國金融統制會ハ主務大臣ノ命令アリタルトキ又ハ其ノ事業ノ遂行上必要アリト認
ムル場合ニ於テ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ會員、業態別統制會ノ會員又ハ業態別統
制會ノ會員タル統制組合ノ組合員ノ業務又ハ財産ノ狀況ヲ検査スルコトヲ得

全國金融統制會ノ會員、業態別統制會ノ會員又ハ業態別統制會ノ會員タル統制組合ノ組合員ハ
前項ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避スルコトヲ得ズ

全國金融統制會ハ第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ行フ役員又ハ使用人ヲシテ其ノ身分ヲ示ス證券ヲ
携帯セシムベシ

第二十四條 全國金融統制會ハ主務大臣ノ命令アリタルトキ又ハ其ノ事業ノ遂行上必要アリト認

(追十二) 八五二

(追十二) 八五三

ムル場合ニ於テ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ業態別統制會ニ對シ其ノ會員若ハ其ノ會員タ
ル統制組合ノ組合員ノ業務若ハ財産ノ狀況ヲ検査シ又ハ其ノ會員タル統制組合ヲシテ當該統
制組合ノ組合員ノ業務若ハ財産ノ狀況ヲ検査セシメ其ノ結果ヲ報告スベキコトヲ命ズルコト
ヲ得

前條第二項及第三項ノ規定ハ業態別統制會又ハ統制組合ガ前項ノ規定ニ依リ検査ヲ行フ場合ニ
之ヲ準用ス

第二十五條 全國金融統制會ハ主務大臣ノ命令アリタルトキ又ハ第四條第二項ノ命令ヲ以テ定ム
ル統制組合ノ事業ヲ指導統制スル爲必要アリト認ムル場合ニ於テ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルト
キハ當該統制組合ノ業務若ハ財産ノ狀況ヲ検査シ又ハ當該統制組合ニ對シ其ノ組合員ノ業務若
ハ財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ結果ヲ報告スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第二十三條第二項及第三項ノ規定ハ全國金融統制會又ハ統制組合ガ前項ノ規定ニ依リ検査ヲ行
フ場合ニ之ヲ準用ス

第二十六條 全國金融統制會ハ主務大臣ノ命令アリタルトキ又ハ地方金融協議會ノ事業ヲ指導統
制スル爲必要アリト認ムル場合ニ於テ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ地方金融協議會ノ業務
又ハ財産ノ狀況ヲ検査スルコトヲ得

第二十三條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十八條關係

第二十七條 通常總會ハ毎年一回會長之ヲ招集ス

會長必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ招集スルコトヲ得

第二十八條 左ニ掲グル事項ハ總會ニ諮リ會長之ヲ決ス

一 定款ノ變更

二 收支豫算

三 賦課金ノ賦課徵收方法

第二十九條 會長ハ毎年總會ニ全國金融統制會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ監事ヲシテ經理ノ狀況ヲ報告セシムベシ

第三十條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ全國金融統制會ヨリ其ノ事業ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ事務所ニ臨檢シ業務若ハ經理ノ狀況ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第三十一條 主務大臣ハ全國金融統制會ニ對シ金融事業ニ關スル事項ノ調査ヲ命ズルコトヲ得

第三十二條 主務大臣金融事業ノ統制上必要アリト認ムルトキハ全國金融統制會ニ對シ必要ナル事業ノ施行ヲ命ジ又ハ定款ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

(追十二) 八五四

(追十一) 八五五

第三十三條 主務大臣ハ全國金融統制會ニ對シ業務又ハ經理ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

主務大臣必要アリト認ムルトキハ監事ヲシテ監査ノ結果ヲ報告セシムルコトヲ得

第三十四條 主務大臣ハ副會長、理事長、理事又ハ評議員ノ行爲ガ法令又ハ法令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ、公益ヲ害シタルトキ其ノ他全國金融統制會ノ事業ノ運營上副會長、理事長、理事又ハ評議員ヲ不適當ナリト認ムルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

主務大臣ハ監事ノ行爲ガ法令若ハ法令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ又ハ公益ヲ害シタルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

主務大臣第一項ノ規定ニ依リ副會長、理事長又ハ理事ヲ解任シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第三十五條 全國金融統制會ハ主務大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

主務大臣前項ノ命令ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第三章 業態別統制會

第三十六條 業態別統制會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲當該金融事業ノ機能ノ一體的發展ヲ圖ルニ必要ナル指導統制ヲ行ヒ且當該金融事業ニ關スル國策ノ遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第十八條關係

第三十七條 業態別統制會ハ金融事業ノ業態別ニ之ヲ設立ス

第三十八條 業態別統制會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ掲グル事業ヲ行フ

一 當該金融事業ヲ營ム者ノ行フ資金ノ吸收及運用ニ關スル指導統制

二 當該金融事業ノ整備ノ促進

三 當該金融事業ノ機能ノ増進

四 當該金融事業ト産業トノ關係ノ緊密化ノ促進

五 當該金融事業ニ關スル調査及研究

六 前各號ニ掲グルモノノ外業態別統制會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

第三十九條 業態別統制會ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ主務大臣ノ指定スル

モノトス

一 當該金融事業ヲ營ム者

二 當該金融事業ヲ營ム者ヲ以テ組織スル統制組合

第四十條 業態別統制會ニハ理事長一人並ニ理事、監事及評議員各若干人ヲ置クベシ

業態別統制會ニハ前項ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ副理事長一人ヲ置クコトヲ得

第四十一條 理事長ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ主務大

臣之ヲ命ズ

前項ノ銓衡委員ハ當該金融事業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ主務大臣之ヲ命ズ

副理事長、理事及評議員ハ當該金融事業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ理事長之ヲ

命ズ

監事ハ命令ノ定ムル所ニ依リ評議員之ヲ選任ス

第三項ノ規定ニ依ル副理事長、理事又ハ評議員ノ任命ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其

ノ效力ヲ生ゼズ

主務大臣第一項ノ規定ニ依ル任命又ハ前項ノ規定ニ依ル副理事長若ハ理事ノ任命ノ認可ヲ爲シ

タルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第四十二條 理事長、副理事長及理事ノ任期ハ三年、監事及評議員ノ任期ハ二年トス

理事長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ副理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得

前項ノ解任ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

主務大臣前項ノ認可ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第四十三條 第十一條第一項、第二項及第四項乃至第六項ノ規定ハ理事長、副理事長、理事、監

事及評議員、第十四條ノ規定ハ理事長、副理事長及理事ニ之ヲ準用ス

第四十四條 業態別統制會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員又ハ其ノ會員タル統制組合ノ組合員

ニ對シ當該金融事業ニ關スル事項ノ調査ヲ爲ス爲必要ナル資料ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第十六條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十五條 主務大臣ハ理事長、副理事長、理事又ハ評議員ノ行爲ガ法令又ハ法令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ、公益ヲ害シタルトキ其ノ他當該業態別統制會ノ事業ノ運營上理事長、副理事長、理事又ハ評議員ヲ不適當ナリト認ムルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

主務大臣ハ監事ノ行爲ガ法令若ハ法令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ又ハ公益ヲ害シタルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

主務大臣第一項ノ規定ニ依リ理事長、副理事長又ハ理事ヲ解任シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第四十六條 第六條乃至第九條、第十五條、第十七條乃至第二十二條、第二十七條乃至第三十三條及第三十五條ノ規定ハ業態別統制會ニ之ヲ準用ス

第四章 統制組合

第四十七條 統制組合ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲一定地區内ニ於ケル當該金融事業ノ機能ノ一體的發揮ヲ圖ルニ必要ナル指導統制ヲ行ヒ且當該金融事業ニ關スル國策ノ遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第四十八條 統制組合ハ一定地區ニ於テ金融事業ノ業態別ニ之ヲ設立ス前項ノ地區ハ主務大臣之ヲ指定ス

(追十二)

(追十二)

第四十九條 統制組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ掲グル事業ヲ行フ

- 一 當該金融事業ヲ營ム者ガ當該地區内ニ於テ行フ資金ノ吸收及運用ニ關スル指導統制
- 二 當該地區内ニ於ケル當該金融事業ノ整備ノ促進
- 三 當該地區内ニ於ケル當該金融事業ノ機能ノ増進
- 四 當該地區内ニ於ケル當該金融事業ト産業トノ關係ノ緊密化ノ促進
- 五 當該地區内ニ於ケル當該金融事業ニ關スル調査及研究
- 六 前各號ニ掲グルモノノ外統制組合ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

第五十條 統制組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者ハ當該地區内ニ於テ當該金融事業ヲ營ム者ニシテ主務大臣ノ指定スルモノトス

第五十一條 統制組合ノ定款ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

- 一 目的
- 二 名稱
- 三 地區
- 四 事務所ノ所在地
- 五 組合員ニ關スル規定
- 六 事業及其ノ執行ニ關スル規定

第十八條關係

- 七 役員ニ關スル規定
- 八 會議ニ關スル規定
- 九 經理ニ關スル規定

第五十二條

統制組合ニハ理事長一人並ニ理事、監事及評議員各若干人ヲ置クベシ

理事長ハ當該金融事業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ當該統制組合ノ所屬スル業態別統制會ノ理事長之ヲ命ズ當該統制組合ノ所屬スル業態別統制會ナキトキハ當該金融事業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ主務大臣之ヲ命ズ

前項前段ノ規定ニ依ル理事長ノ任命ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ
第十一條第一項第四項乃至第六項、第四十二條第一項乃至第三項及第四十五條第一項第二項ノ規定ハ理事長、理事、監事及評議員ニ、第四十一條第三項乃至第五項ノ規定ハ理事、監事及評議員ニ之ヲ準用ス

第五十三條

業態別統制會ノ理事長ハ當該業態別統制會ノ會員タル統制組合ノ理事長ノ行爲ガ法令又ハ法令ニ基キテ爲ス行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ、公益ヲ害シタルトキ其ノ他當該統制組合ノ事業ノ運營上當該理事長ヲ不適當ナリト認ムルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得
前項ノ解任ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第五十四條

統制組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルベキ總代會ヲ設クルコトヲ得

第二十七條乃至第二十九條ノ規定ハ前項ノ總代會ニ之ヲ準用ス

第五十五條

第四條第二項ノ命令ヲ以テ定ムル統制組合ハ全國金融統制會ノ行フ統制ニ從フベシ

第五十六條

統制組合ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第五十七條

第六條、第八條(定款ノ告示ニ關スル部分ヲ除ク)、第九條、第十五條、第十七條乃至第二十二條(第二十一條中定款變更ノ認可ノ告示ニ關スル部分ヲ除ク)、第二十七條乃至第三十三條、第三十五條第一項及第四十四條ノ規定ハ統制組合ニ之ヲ準用ス

第五章 地方金融協議會

第五十八條

地方金融協議會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲一定地區内ニ於ケル金融事業相互間ノ連絡調整ヲ圖ルニ必要ナル指導統制ヲ行ヒ且金融事業ニ關スル國策ノ遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第五十九條

地方金融協議會ハ一定地區ニ於テ之ヲ設立ス

前項ノ地區ハ主務大臣之ヲ指定ス

第六十條

地方金融協議會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ掲グル事業ヲ行フ

第十八條關係

一 金融事業ヲ營ム者ガ當該地區内ニ於テ行フ資金ノ吸收及運用ニ關スル指導統制
 二 當該地區内ニ於ケル金融事業ノ整備ノ促進
 三 當該地區内ニ於ケル金融事業ノ機能ノ増進
 四 前各號ニ掲グルモノノ外地方金融協議會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

第六十一條 地方金融協議會ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ主務大臣ノ指定スルモノトス

一 當該地區内ニ於テ金融事業ヲ營ム者

二 當該地區内ニ於テ金融事業ヲ營ム者ヲ以テ組織スル統制組合

第六十二條 地方金融協議會ニハ理事長一人並ニ理事、監事及評議員各若干人ヲ置クベシ

理事長ハ金融事業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ主務大臣之ヲ命ズ

第十一條第一項第四項乃至第六項、第四十二條第一項乃至第三項及第四十五條第一項第二項ノ規定ハ理事長、理事、監事及評議員ニ、第四十一條第三項乃至第五項ノ規定ハ理事、監事及評議員ニ之ヲ準用ス

第六十三條 地方金融協議會ニハ定款ノ定ムル所ニ依リ顧問若干人ヲ置クコトヲ得

第六十四條 第六條、第八條(定款ノ告示ニ關スル部分ヲ除ク)、第九條、第十五條、第十七條乃至第二十二條(第二十一條中定款變更ノ認可ノ告示ニ關スル部分ヲ除ク)、第二十七條乃至第三

(連十二) 八六二

(連十二) 八六三

十三條、第三十五條第一項、第四十四條、第五十一條及第五十四條乃至第五十六條ノ規定ハ地方金融協議會ニ之ヲ準用ス

第六章 雜則

第六十五條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ第四章又ハ第五章ニ規定スル職權ノ一部ヲ地方長官ヲシテ行ハシムルコトヲ得

第六十六條 本令中主務大臣トアルハ第二項ニ規定スル場合ヲ除クノ外大藏大臣トス但シ産業組合中央金庫、信用組合聯合會(樺太ニ於テ設立セラレタルモノヲ除ク以下同ジ)又ハ信用組合(臺灣又ハ樺太ニ於テ設立セラレタルモノヲ除ク以下同ジ)ヲ會員又ハ組合員トスル業態別統制會、統制組合又ハ地方金融協議會ニ在リテハ大藏大臣及農林大臣トス

第二條及第五章中主務大臣トアルハ朝鮮、臺灣又ハ樺太ヲ地區トスル地方金融協議會ニ在リテハ各朝鮮總督、臺灣總督又ハ樺太廳長官トス

第十九條(第四十六條、第五十七條及第六十四條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)中市町村トアルハ朝鮮ニ在リテハ府邑面、臺灣ニ在リテハ市街庄トシ市町村稅トアルハ朝鮮ニ在リテハ國稅、臺灣ニ在リテハ市街庄稅トシ百分ノ四トアルハ朝鮮ニ在リテハ百分ノ五トス

第六十七條 大藏大臣全國金融統制會ニ付左ニ掲グル處分ヲ爲サントスル場合ニ於テ當該處分ガ恩給金庫ニ關スルモノナルトキハ内閣總理大臣、産業組合中央金庫、信用組合聯合會又ハ信用

第十八條關係

組合ヲ會員又ハ組合員トスル業態別統制會、統制組合又ハ地方金融協議會ニ關スルモノナルトキハ農林大臣、商工組合中央金庫ニ關スルモノナルトキハ商工大臣、朝鮮殖産銀行ニ關スルモノナルトキハ朝鮮總督ニ協議スベシ

一 第五條ノ規定ニ依ル指定

二 第六條第一項、第二十三條第一項、第二十四條第一項、第二十六條第一項、第三十二條及第三十五條第一項ノ規定ニ依ル命令

三 第六條第二項、第二十一條第一項、第二十三條第一項、第二十四條第一項及第二十六條第一項ノ規定ニ依ル認可

四 第三十三條第一項ノ規定ニ依ル命令又ハ處分

朝鮮總督朝鮮ヲ地區トスル地方金融協議會ニ付左ニ掲グル處分ヲ爲サントスル場合ニ於テ當該處分ガ朝鮮銀行又ハ朝鮮ニ於テ金融事業ヲ營ム者ニシテ内地ニ主タル營業所若ハ事務所ヲ有スルモノノ朝鮮ニ於ケル營業所若ハ事務所ニ於ケル金融事業ニ關スルモノナルトキハ大藏大臣ニ協議スベシ臺灣總督又ハ樺太廳長官臺灣又ハ樺太ヲ地區トスル地方金融協議會ニ付左ニ掲グル處分ヲ爲サントスル場合ニ於テ當該處分ガ臺灣若ハ樺太ニ營業所ヲ有スル銀行又ハ臺灣若ハ樺太ニ於テ金融事業ヲ營ム者ニシテ内地ニ主タル營業所若ハ事務所ヲ有スルモノノ臺灣若ハ樺太ニ於ケル營業所若ハ事務所ニ於ケル金融事業ニ關スルモノナルトキ亦同ジ

(追十二) 八六四

(追十一) 八六五

一 第六十一條ノ規定ニ依ル指定

二 第六十四條ニ於テ準用スル第六條第一項、第三十二條及第三十五條第一項ノ規定ニ依ル命令

三 第六十四條ニ於テ準用スル第六條第二項及第二十一條第一項ノ規定ニ依ル認可

四 第六十四條ニ於テ準用スル第三十三條第一項ノ規定ニ依ル命令又ハ處分

第六十八條 第三章及第四章ノ規定ハ朝鮮、臺灣及樺太ニ在リテハ之ヲ適用セズ但シ臺灣又ハ樺太ニ營業所ヲ有スル銀行ノ當該營業所ニ於ケル金融事業ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第六十五條ノ規定ハ朝鮮、臺灣及樺太ニ在リテハ之ヲ適用セズ

第六十九條 本令ニ規定スルモノヲ除クノ外全國金融統制會、業態別統制會、統制組合及地方金融協議會ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ地方金融協議會ニ關スル規定ハ朝鮮、臺灣及樺太ニ在リテハ昭和十七年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

金融統制團體令施行規則

昭和十七年四月十八日
農林省令第一號

第一章 全國金融統制會

第一條 全國金融統制會ノ金融統制團體令(以下令ト稱ス)第四條第二項ノ規定ニ依リ事業ノ指導統制ヲ行フ業態別統制會ノ會員ニ非ザル統制組合ハ主務大臣之ヲ指定ス
主務大臣前項ノ指定ヲ爲シタルトキハ之ヲ告示ス

第二條 全國金融統制會令第四條第二項ノ規定ニ依リ前條ノ統制組合及地方金融協議會ノ事業ノ指導統制ヲ行フ場合ニ於テハ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル準則ニ依ルベシ

第三條 主務大臣令第六條第一項ノ規定ニ依リ全國金融統制會ノ設立ヲ命ズル場合ニ於テハ同條第二項ノ認可(以下設立ノ認可ト稱ス)ヲ申請スベキ期限ヲ指定シ之ヲ告示ス
前項ノ場合ニ於テ主務大臣ハ會員タル資格ヲ有スル者ノ中ヨリ設立委員ヲ命ジ其ノ名稱及住所ヲ告示ス

前項ノ告示アリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク創立總會ヲ招集スベシ

第四條 創立總會ヲ招集スルニハ會員タル資格ヲ有スル者ニ對シ會日ヨリ少クトモ一週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ示シ招集ノ通知ヲ發スベシ

(通十二) 八六六

第五條 左ニ掲グル事項ハ創立總會ニ諮リ設立委員之ヲ定ム

一 定 款

二 全國金融統制會ノ負擔ニ歸スベキ創立費及其ノ償却方法

三 初年度ノ收支豫算及初年度ニ於ケル賦課金ノ賦課徵收方法

第六條 創立總會終結シタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク全國金融統制會ノ設立ノ認可ヲ申請スベシ
設立ノ認可申請書ニハ定款、創立總會ノ議事録ノ謄本並ニ前條第二號及第三號ニ掲グル事項ヲ記載シタル書面ヲ添付スベシ

第七條 副會長、理事長、理事、監事又ハ評議員辭任又ハ死亡シタルトキハ全國金融統制會ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ主務大臣ニ届出ツベシ其ノ者ノ任期滿了シタルトキ亦同ジ

副會長、理事長又ハ理事ニ付前項ノ届出アリタルトキハ主務大臣ハ其ノ旨ヲ告示ス

第八條 全國金融統制會令第十六條ノ規定ニ依リ資料ノ提出ヲ求メントスルトキハ統制規程ニ依ル場合ヲ除クノ外主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第九條 總會ヲ招集スルニハ會員ニ對シ會日ヨリ少クトモ一週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ示シ招集ノ通知ヲ發スベシ

第十條 每事業年度ノ收支豫算及賦課金ノ賦課徵收方法ヲ決定シタルトキハ全國金融統制會ハ遲滯ナク之ヲ主務大臣ニ届出ツベシ其ノ變更アリタルトキ亦同ジ

第十八條關係

(通十二) 八六七

第十一條 全國金融統制會ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

第十二條 主務大臣全國金融統制會ノ解散ヲ命ジタル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ全國金融統制會ノ主

タル事務所ノ所在地ノ區裁判所ニ通知スベシ

前項ノ通知アリタルトキハ裁判所ハ職權ヲ以テ清算人ヲ選任ス

裁判所必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ清算人ヲ解任スルコトヲ得

裁判所清算人ヲ選任又ハ解任シタルトキハ其ノ旨ヲ主務大臣ニ通知スベシ

前項ノ通知アリタルトキハ主務大臣ハ其ノ旨ヲ告示ス

第十三條 清算人ハ全國金融統制會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第十四條 清算人ハ清算及財産處分ノ方法ヲ定メ裁判所ノ認可ヲ受クベシ

裁判所必要アリト認ムルトキハ清算人ニ對シ清算及財産處分ノ方法ノ變更其ノ他監督上必要ナ

ル命令ヲ爲スコトヲ得

第十五條 全國金融統制會ハ解散ノ後ト雖モ裁判所ノ認可ヲ受ケ其ノ債務ヲ完済スルニ必要ナル

金額ヲ賦課徵收スルコトヲ得

令第十九條及第六十六條第三項ノ規定ハ前項ノ賦課徵收ニ關シ之ヲ準用ス

第十六條 主務大臣ハ裁判所ニ對シ清算ニ關シ意見ヲ述ブルコトヲ得

(追十一) 八六八

(追十二) 八六九

第十七條 全國金融統制會ノ清算結了シタルトキハ裁判所ハ其ノ旨ヲ主務大臣ニ通知スベシ

前項ノ通知アリタルトキハ主務大臣ハ其ノ旨ヲ告示ス

第二章 業態別統制會

第十八條 主務大臣令第四十六條ニ於テ準用スル令第六條第一項ノ規定ニ依リ業態別統制會ノ設

立ヲ命ズル場合ニ於テハ左ニ掲グル事項ヲ指定シ之ヲ告示ス

一 金融事業ノ業態

二 設立ノ認可ヲ申請スベキ期限

第十九條 主務大臣ノ指定スル業態別統制會ノ理事長ハ當該金融事業ニ關シ經驗アル者及學識ア

ル者ノ中ヨリ主務大臣之ヲ命ズ

主務大臣前項ノ指定ヲ爲シタルトキハ之ヲ告示ス

第二十條 監事ノ選任ハ評議員ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲ス

第二十一條 監事ノ選任アリタルトキハ業態別統制會ハ遲滞ナク其ノ氏名及住所ヲ主務大臣ニ届

出ツベシ

理事長、副理事長、理事、監事又ハ評議員辭任又ハ死亡シタルトキハ業態別統制會ハ遲滞ナク

其ノ旨ヲ主務大臣ニ届出ツベシ其ノ者ノ任期滿了シタルトキ亦同ジ

理事長、副理事長又ハ理事ニ付前項ノ届出アリタルトキハ主務大臣ハ其ノ旨ヲ告示ス

第十八條關係

第二十二條 第三條第二項第三項、第四條乃至第六條及第八條乃至第十七條ノ規定ハ業態別統制會ニ之ヲ準用ス但シ第四條及第九條中一週間トアルハ二週間トス

第三章 統制組合

第二十三條 主務大臣令第五十七條ニ於テ準用スル令第六條第一項ノ規定ニ依リ統制組合ノ設立ヲ命ズル場合ニ於テハ左ニ掲グル事項ヲ指定シ之ヲ告示ス

一 金融事業ノ業態

二 地區

三 設立ノ認可ヲ申請スベキ期限

第二十四條 事務所ノ位置又ハ理事長若ハ理事ノ住所ニ變更アリタルトキハ統制組合ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ行政官廳ニ届出ヅベシ

第二十五條 第三條第二項第三項、第四條乃至第六條、第八條乃至第十一條、第十二條第一項乃至第四項、第十三條乃至第十六條、第十七條第一項、第二十條及第二十一條第一項第二項ノ規定ハ統制組合ニ之ヲ準用ス但シ主務大臣トアルハ第三條第二項及第十二條第一項ノ場合ヲ除クノ外行政官廳トシ總會トアルハ總會又ハ總代會トシ第九條中會員トアルハ組合員又ハ總代會ヲ構成スル組合員トス

第二十六條 統制組合成立シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ左ニ掲グル事項ヲ登記スルコト

(追十二) 八七〇

ヲ要ス

一 目的

二 名稱

三 地區

四 事務所

五 成立ノ年月日

六 理事長及理事ノ氏名及住所

前項ニ掲グル事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ變更ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二十七條 統制組合成立ノ後新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ其ノ事務所ノ所在地ニ於テハ前條第一項ニ掲グル事項ヲ登記スルコトヲ要ス但シ既ニ存スル事務所ノ所在地ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ其ノ事務所ヲ設ケタルコトヲ登記スルヲ以テ足ル

第二十八條 統制組合ガ事務所ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ移轉ノ登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ第二十六條第一項ニ掲グル事項ヲ登記スルコトヲ要ス但シ同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタルトキハ其ノ移轉ノ登記ヲ爲スヲ以テ足ル

第二十九條 統制組合ノ解散ノ命令アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ解散ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第十八條關係

二五三

(追十一) 八七一

第三十條 統制組合ノ清算人ノ選任アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ清算人ノ氏名及住所ヲ登記スルコトヲ要ス

第二十六條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十一條 統制組合ノ清算結了シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ清算結了ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第三十二條 統制組合ノ登記ニ付テハ其ノ事務所ノ所在地ノ區裁判所ヲ以テ管轄登記所トス前項ノ登記ハ統制團體登記簿ニ之ヲ爲ス

第三十三條 第二十六條乃至第二十九條ノ規定ニ依ル登記ハ當該行政官廳ノ囑託ニ因リテ之ヲ爲ス第三十條及第三十一條ノ規定ニ依ル登記ハ裁判所ノ囑託ニ因リテ之ヲ爲ス

第三十四條 登記シタル事項ハ裁判所遲滯ナク之ヲ公告スルコトヲ要ス

第三十五條 非訟事件手續法第二百二十五條第一項(第五百十條、第五百十條ノ三及第七百七十七條ノ規定ヲ準用スル部分ヲ除ク)ノ規定ハ統制組合ノ登記ニ之ヲ準用ス

第四章 地方金融協議會

第三十六條 主務大臣令第六十四條ニ於テ準用スル令第六條第一項ノ規定ニ依リ地方金融協議會ノ設立ヲ命ズル場合ニ於テハ左ニ掲グル事項ヲ指定シ之ヲ告示ス

一 地區

二 設立ノ認可ヲ申請スベキ期限

第三十七條 第三條第二項第三項、第四條乃至第六條、第八條乃至第十一條、第十二條第一項乃至第四項、第十三條乃至第十六條、第十七條第一項、第二十條、第二十一條第一項第二項、第二十四條及第二十六條乃至第三十五條ノ規定ハ地方金融協議會ニ之ヲ準用ス但シ主務大臣トアルハ第三條第二項及第十二條第一項ノ場合ヲ除クノ外行政官廳トシ總會トアルハ總會又ハ總代會トシ第九條中會員トアルハ會員又ハ總代會ヲ構成スル會員トス

第五章 雜則

第三十八條 令第二十三條第三項(令第二十四條第二項、第二十五條第二項及第二十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ證票ハ別記第一號様式ニ、令第三十條第二項(令第四十六條、第五十七條及第六十四條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ證票ハ別記第二號様式ニ依ル

第三十九條 統制組合又ハ地方金融協議會ニシテ地區ガ道府縣ノ區域ヲ超エザルモノニ關スル左ニ掲グル事項ハ令第六十五條ノ規定ニ依リ當該地區ヲ管轄スル地方長官ヲシテ之ヲ行ハシム但シ第一號乃至第四號及第六號ニ掲グル事項ハ事宜ニ依リ主務大臣ニ於テ之ヲ行フ

一 令第五十七條又ハ第六十四條ニ於テ準用スル令第十五條第二項ノ規定ニ依リ諮問ヲ爲スコト
二 令第五十七條又ハ第六十四條ニ於テ準用スル令第三十條ノ規定ニ依リ報告ヲ徴シ又ハ検査ヲ爲スコト

第十八條關係

- 三 令第五十七條又ハ第六十四條ニ於テ準用スル令第三十一條ノ規定ニ依ル命令ヲ爲スコト
- 四 令第五十七條又ハ第六十四條ニ於テ準用スル令第三十三條ノ規定ニ依ル命令又ハ處分ヲ爲スコト
- 五 令第五十二條第四項又ハ第六十二條第三項ニ於テ準用スル令第四十一條第五項及第四十二條第三項ノ規定ニ依ル認可ヲ爲スコト
- 六 令第五十二條第四項又ハ第六十二條第三項ニ於テ準用スル令第四十五條第一項及第二項ノ規定ニ依ル處分(理事長ノ解任ヲ除ク)ヲ爲スコト
- 第四十條 第二十四條、第二十五條、第三十三條第一項及第三十七條中行政官廳トアルハ統制組合又ハ地方金融協議會ニシテ地區ガ道府縣ノ區域ヲ超エザルモノニ關スル場合ニ在リテハ當該地區ヲ管轄スル地方長官トシ其ノ他ノ統制組合又ハ地方金融協議會ニ關スル場合ニ在リテハ主務大臣トス
- 第四十一條 民法第七十九條、第八十條及第八十二條第二項竝ニ非訟事件手續法第三十五條第二項、第三十六條及第三十七條ノ二ノ規定ハ全國金融統制會、業態別統制會、統制組合及地方金融協議會ノ清算ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(追十二) 八七四

(追十一) 八七五

別記第一號様式(用紙寸法日本標準規格B8) 表面

職氏	名
臨檢之章	全國金融統制會
	全國金融統制會印

裏面

二五八

第 號 昭和 年 月 日 交付

(備考) 業態別統制會及統制組合ニ在リテハ右ニ準ジテ作成スルコト

(追十二) 八七六

別記第二號様式(用紙寸法日本標準規格B8) 表面

(追十二) 八七七

官 氏 名

金融統制團體令第三十條ノ規定ニ基ク

臨 檢 之 章

大藏省又ハ農林省

大藏省
又ハ農
林省印

第十八條關係

二五九

第 號 昭和 年 月 日 交付

(備考) 北海道廳府縣ニ在リテハ右ニ準ジテ作成スルコト

(追十二) 八七八

(追十一) 八七九

金融統制團體令第四十六條ニ於テ準用スル同令第六條第一項及金融統制團體令施行規則第十八條ノ規定ニ依リ昭和十七年四月大藏省告示第九十五號ノ各號ニ掲グル業態別統制會ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ夫々其ノ事業ノ業態別統制會ヲ設立シ昭和十七年五月三十一日迄ニ當該業態別統制會ニ付金融統制團體令第四十六條ニ於テ準用スル同令第六條第二項ノ認可ヲ申請スベキコトヲ命ス

(昭和十七年四月二十三日)
大藏省告示第九十六號

金融統制團體令施行規則第十九條ノ規定ニ依リ左ノ通指定ス

(昭和十七年五月八日)
大藏省告示第四號
農林省告示第四號

產業組合法第一條第四項ノ規定ニ依リ手形ノ割引又ハ貯金ノ取扱ヲ爲ス信用組合ノ行フ事業ノ業態別統制會

金融統制團體令施行規則第十九條ノ規定ニ依リ左ノ通指定ス

(昭和十七年五月八日)
大藏省告示第二百二十九號

不動産金融ヲ主タル目的トシテ特別ノ法令ニ依リ設立セラレタル銀行ノ行フ事業ノ業態別統制會

金融統制團體令第四十六條ニ於テ準用スル第六條第一項ノ規定ニ依リ昭和十七年五月農林省、大藏省告示第四號ヲ以テ指定シタル者ニ對シ信用組合(產業組合法第一條第四項ノ規定ニ依リ手形ノ割引又ハ貯金ノ取扱ヲ爲ス信用組合ヲ除ク)、信用組合聯合會及產業組合中央金庫ノ行フ事業ノ業態別統制會ノ設立ヲ命ス
前項ノ業態別統制會ニ關スル金融統制團體令施行規則第十八條第一號及第二號ノ事項ヲ指定スルコト左ノ如シ

(昭和十七年五月十五日)
農林省告示第五號
大藏省告示第五號

- 一 金融事業ノ業態 信用組合(產業組合法第一條第四項ノ規定ニ依リ手形ノ割引又ハ貯金ノ取扱ヲ爲ス信用組合ヲ除ク)、信用組合聯合會及產業組合中央金庫ノ行フ金融事業
- 二 設立ノ認可ヲ申請スベキ期限 昭和十七年六月十五日

貯蓄銀行業ノ業態別統制會ハ昭和十七年五月十二日成立
シタリ其ノ定款左ノ如シ

(昭和十七年五月十八日
大藏省告示第二百六十號)

貯蓄銀行統制會定款

第一章 總則

第一條 本會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲貯蓄銀行業ノ機能ノ一體的發揮ヲ圖ルニ必要ナル指導統制ヲ行ヒ且貯蓄銀行業ニ關スル國策ノ遂行ニ協力スルコトヲ目的トス
第二條 本會ハ金融統制團體令ニ依リテ設立シ貯蓄銀行統制會ト稱ス
第三條 本會ハ事務所ヲ東京市ニ置ク

第二章 會員

第四條 本會ハ貯蓄銀行法ニ依リ營業ノ免許ヲ受ケタル貯蓄銀行ヲ以テ之ヲ組織ス
第五條 會員ハ本會ノ定ムル統制規程ニ依ルベキモノトス
第六條 會員ハ本會又ハ全國金融統制會ヨリ其ノ事業ニ關スル資料ノ提出ヲ求メラレタルトキハ遲滞ナク之ヲ提出スベキモノトス
第七條 會員ハ其ノ業務又ハ財産ノ狀況ニ付本會又ハ全國金融統制會ノ役員又ハ職員ノ行フ検査

(追十二) 八八二

ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避スルコトヲ得ザルモノトス

(追十一) 八八三

第三章 事業及其ノ執行

第八條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ
一 貯蓄銀行ノ行フ資金ノ吸收及運用ニ關スル指導統制
二 貯蓄銀行業ノ整備ノ促進
三 貯蓄銀行業ノ機能ノ増進
四 貯蓄銀行業ノ産業トノ關係ノ緊密化ノ促進
五 貯蓄銀行業ニ關スル調査及研究
六 前各號ニ掲グルモノノ外本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業
第九條 本會ガ會員ノ事業ニ關シ行フ統制ニ付テハ大藏大臣ノ認可ヲ受ケタル統制規程ノ定ムル所ニ依ルモノトス
第十條 本會ノ事業ノ執行ニ關シ必要ナル事項ハ理事長之ヲ定ム

第四章 役員

第十一條 本會ニ理事長一人並ニ理事、監事及評議員各若干人ヲ置ク
第十二條 理事長ハ本會ヲ代表シ貯蓄銀行業ノ指導統制其ノ他ノ會務ヲ總理ス

第十八條關係

理事ハ理事長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ豫メ理事長ノ定ムル順位ニ依リ理事長事故アルトキハ理事
長ノ職務ヲ代理シ理事長缺員ノトキハ理事長ノ職務ヲ行フ

監事ハ本會ノ經理ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ理事長ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ理事長ニ對シ意見ヲ具申ス

第十三條 理事長ハ大藏大臣ノ命ジタル銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ大藏大臣ノ命ジタルモ
ノトス

理事及評議員ハ貯蓄銀行業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ理事長大藏大臣ノ認可ヲ受
ケ之ヲ命ズ

監事ハ評議員之ヲ選任ス

監事ノ選任ハ評議員ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲ス

第十四條 理事長及理事ノ任期ハ三年、監事及評議員ノ任期ハ二年トス

理事長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ大藏大臣ノ認可ヲ受ケ理事ヲ解任スルコトヲ得

第十五條 理事長及理事ハ大藏大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコト
ヲ得ザルモノトス但シ日本銀行ノ職員タルコトヲ妨ゲザルモノトス

第五章 會議

第十六條 總會ハ通常總會及臨時總會トス

(追十一) 八八四

(追十二) 八八五

通常總會ハ毎年一回之ヲ開催シ臨時總會ハ理事長必要アリト認ムルトキ隨時之ヲ開催ス
總會ハ理事長之ヲ招集ス

總會ヲ招集スルニハ會員ニ對シ會日ヨリ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所
ヲ示シ招集ノ通知ヲ發スルモノトス

總會ノ議長ハ理事長之ニ當ル

第十七條 左ニ掲グル事項ハ總會ニ諮リ理事長之ヲ決ス

- 一 定款ノ變更
 - 二 收支豫算
 - 三 第二十條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法
- 第十八條 理事長ハ毎年通常總會ニ本會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ監事ヲシテ經理ノ狀況ヲ報告セシ
ム

第六章 經理

第十九條 本會ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第二十條 本會ハ會員ニ對シ其ノ經費ヲ賦課ス

賦課金ノ賦課徵收ニ關シテハ理事長之ヲ定ム

第七章 解散及清算

第十八條關係

第二十一條 本會ハ大藏大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

第二十二條 清算人ハ裁判所ノ選任シタル者之ニ當ル

第八章 過怠金

第二十三條 本會ハ定款ニ違反シタル會員ニ對シ五千圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第二十四條 本會ハ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ一萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

金融統制團體令第四十六條ニ於テ準用スル同令第二十一條第一項ノ規定ニ依リ昭和十七年七月十四日貯蓄銀行統制會ノ左記統制規程設定ノ件認可シタリ

(昭和十七年七月十五日)
大藏省告示第四百十六號

貯蓄銀行統制會統制規程第一號

資金ノ吸收及運用ノ計畫ニ關スル件

第一條 會員ハ理事長ノ定ムル所ニ依リ一定期間毎ニ其ノ行フ資金ノ吸收及運用ニ關スル計畫ヲ本會ニ提出スベシ

理事長ハ前項ノ計畫ノ變更ヲ命ジ又ハ前項ノ計畫ニ付金融統制上必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二條 會員ハ前條第一項ノ計畫及同條第二項ノ命令又ハ指示ニ依リ其ノ資金ノ運用ヲ行フベシ但シ主務大臣ヨリ特別ノ指示アリタルトキ又ハ特別ノ事由アル場合ニ於テ理事長ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

附則

本規程ハ大藏大臣ノ認可ノ告示アリタル日ヨリ之ヲ施行ス

第十八條關係

貯蓄銀行統制會統制規程第二號

資金ノ吸收ニ關スル件

第一條 會員ハ貯蓄銀行法第十六條第一項ノ規定ニ基キ其ノ業務ノ種類又ハ方法ノ變更ニ付大藏大臣ノ認可ヲ申請セントスルトキハ豫メ本會ニ申出ヅベシ

第二條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ其ノ預貯金利率其ノ他ノ資金吸收ノ方法及條件等ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

附則

本規程ハ大藏大臣ノ認可ノ告示アリタル日ヨリ之ヲ施行ス

貯蓄銀行統制會統制規程第三號

資金ノ運用等ニ關スル件

第一條 會員ハ貯蓄銀行法第十一條第二項ノ規定ニ基キ有價證券ノ種類ニ付大藏大臣ニ認可ヲ申請セントスルトキハ豫メ本會ニ申出ヅベシ

第二條 理事長ハ會員ニ對シ其ノ應募、引受又ハ買入ヲ爲スベキ有價證券ノ種類、金額又ハ割合其ノ他有價證券ニ關スル政府ノ計畫ノ實施ニ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第三條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ有價證券ノ賣買ノ時期、方法又ハ條件ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

(追十二) 四〇〇

(追十二) 四〇一

第四條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ其ノ行フ貸付ノ制限ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第五條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ貸付利率、擔保物件其ノ他ノ貸付ノ方法及條件等ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第六條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ銀行預金、金錢若ハ有價證券ノ信託若ハ手形ノ買入ノ方法ニ依ル資金ノ運用ノ制限又ハ大藏省預金部ヘノ預ケ金若ハ郵便貯金ノ方法ニ依ル資金ノ運用ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第七條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ取扱手数料其ノ他之ニ準ズルモノニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

附則

本規程ハ大藏大臣ノ認可ノ告示アリタル日ヨリ之ヲ施行ス

有價證券引受業ノ業態別統制會ハ昭和十七年五月十二日
成立シタリ其ノ定款左ノ如シ

(昭和十七年五月十八日
大藏省告示第二百六十三號)

證券引受會社統制會定款

第一章 總則

第一條 本會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲證券引受會社ノ營ム事業ノ機能ノ一體的發揮ヲ圖ルニ必要ナル指導統制ヲ行ヒ且當該事業ニ關スル國策ノ遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第二條 本會ハ金融統制團體令ニ依リテ設立シ證券引受會社統制會ト稱ス

第三條 本會ハ事務所ヲ東京市ニ置ク

第二章 會員

第四條 本會ハ證券引受會社ニシテ大藏大臣ノ指定シタルモノヲ以テ之ヲ組織ス

第五條 會員ハ本會ノ定ムル統制規程ニ依ルベキモノトス

第六條 會員ハ本會又ハ全國金融統制會ヨリ其ノ事業ニ關スル資料ノ提出ヲ求メラレタルトキハ遲滯ナク之ヲ提出スベキモノトス

第十八條關係

第七條 會員ハ其ノ業務又ハ財産ノ狀況ニ付本會又ハ全國金融統制會ノ役員又ハ職員ノ行フ検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避スルコトヲ得ザルモノトス

第三章 事業及其ノ執行

第八條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 會員ノ行フ公債及社債ノ引受、募集ノ取扱及賣買ニ關スル指導統制
 - 二 有價證券引受業ノ整備ノ俟進
 - 三 有價證券引受業ノ機能ノ増進
 - 四 有價證券引受業ト産業トノ關係ノ緊密化ノ促進
 - 五 有價證券引受業ニ關スル調査及研究
 - 六 前各號ニ掲グルモノノ外本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業
- 第九條 本會カ會員ノ事業ニ關シ行フ統制ニ付テハ大藏大臣ノ認可ヲ受ケタル統制規程ノ定ムル所ニ依ルモノトス

理事長統制規程ヲ設定又ハ變更セントスルトキハ評議員ニ諮問スベキモノトス

第十條 本會ノ事業ノ執行ニ關シ必要ナル事項ハ理事長之ヲ定ム

第四章 役員

第十一條 本會ニ理事長一人並ニ理事、監事及評議員各若干人ヲ置ク

第十二條 理事長ハ本會ヲ代表シ證券引受會社ノ營ム事業ノ指導統制其ノ他ノ會務ヲ總理ス

理事ハ理事長ヲ補佐シ會務ヲ掌理シ豫メ理事長ノ定ムル順位ニ依リ理事長事故アルトキハ理事長ノ職務ヲ代理シ理事長缺員ノトキハ理事長ノ職務ヲ行フ

監事ハ本會ノ經理ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ理事長ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ理事長ニ對シ意見ヲ具申ス

第十三條 理事長ハ大藏大臣ノ命ジタル銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ大藏大臣ノ命ジタルモノトス

理事及評議員ハ有價證券引受業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ理事長大藏大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ命ス

監事ハ評議員之ヲ選任ス

監事ノ選任ハ評議員ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲ス

第十四條 理事長及理事ノ任期ハ三年、監事及評議員ノ任期ハ二年トス

理事長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ大藏大臣ノ認可ヲ受ケ理事ヲ解任スルコトヲ得

第十五條 理事長及理事ハ大藏大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ他ノ職務又ハ商業ニ従事スルコトヲ得ザルモノトス但シ日本銀行ノ職員タルコトヲ妨ゲザルモノトス

第五章 會議

第十八條關係

第十六條總會ハ通常總會及臨時總會トス

通常總會ハ毎年一回之ヲ開催シ臨時總會ハ理事長必要アリト認ムルトキハ隨時之ヲ開催ス
總會ハ理事長之ヲ招集ス

總會ヲ招集スルニハ會員ニ對シ會日ヨリ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所
ヲ示シ招集ノ通知ヲ發スルモノトス

總會ノ議長ハ理事長之ニ當ル

第十七條 左ニ掲グル事項ハ總會ニ諮リ理事長之ヲ決ス

一 定款ノ變更

二 收支豫算

三 第二十條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法

第十八條 理事長ハ毎年通常總會ニ本會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ監事ヲシテ經理ノ狀況ヲ報告セシム

第六章 經理

第十九條 本會ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第二十條 本會ハ會員ニ對シ其ノ經費ヲ賦課ス

賦課金ノ賦課徵收ニ關シテハ理事長之ヲ定ム

第七章 解散及清算

第二十一條 本會ハ大藏大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

第二十二條 清算人ハ裁判所ノ選任シタル者之ニ當ル

第八章 過怠金

第二十三條 本會ハ定款ニ違反シタル會員ニ對シ五千圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第二十四條 本會ハ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ一萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

金融統制團體令第四十六條ニ於テ準用スル同令第二十一條第一項ノ規定ニ依リ昭和十七年七月十六日證券引受會社統制會ノ左記統制規程設定ノ件認可シタリ

(昭和十七年七月十七日)
大藏省告示第四百二十二號

證券引受會社統制會統制規程第一號

有價證券ノ引受、募集ノ取扱及賣買ニ關スル件

- 第一條 理事長ハ會員ニ對シ其ノ引受又ハ募集ノ取扱ヲ爲スベキ有價證券ノ種類、金額又ハ割合其ノ他有價證券ニ關スル政府ノ計畫ノ實施ニ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ
- 第二條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ有價證券ノ引受又ハ募集ノ取扱ノ時期、方法又ハ條件ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ
- 第三條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ有價證券ノ賣買ノ時期、方法又ハ條件ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

附則

(追十二)

四〇四

(追十二)

四〇五

本規程ハ大藏大臣ノ認可ノ告示アリタル日ヨリ之ヲ施行ス
證券引受會社統制會統制規程第二號

投資信託ニ關スル業務ニ關スル件

- 第一條 會員ハ理事長ノ定ムル所ニ依リ一定期間毎ニ投資信託ニ關スル業務ニ關スル計畫ヲ本會ニ提出スベシ
理事長ハ前項ノ計畫ノ變更ヲ命ジ又ハ前項ノ計畫ニ付金融統制上必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ
- 第二條 會員ハ前條第一項ノ計畫及同條第二項ノ命令又ハ指示ニ依リ其ノ投資信託ニ關スル業務ヲ行フベシ但シ主務大臣ヨリ特別ノ指示アリタルトキ又ハ特別ノ事由アル場合ニ於テ理事長ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ
- 第三條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ投資信託ノ契約ノ締結若ハ變更又ハ信託期間ノ延長若ハ短縮ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ
- 第四條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ投資信託ニ於ケル有價證券ノ選定又ハ其ノ賣買ノ時期、方法若ハ條件ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ
- 第五條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ投資信託ノ受益證券ノ賣買ノ方法又ハ條件ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

附則

本規程ハ大藏大臣ノ認可ノ告示アリタル日ヨリ之ヲ施行ス

第十八條關係

信託業ノ業態別統制會ハ昭和十七年五月十二日成立シタ
リ其ノ定款左ノ如シ

(昭和十七年五月十八日)
大藏省告示第二百六十六號

信託統制會定款

第一章 總則

第一條 本會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲信託業ノ機能ノ一體的發展ヲ圖ルニ必要ナル指導統制ヲ行ヒ且信託業ニ關スル國策ノ遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第二條 本會ハ金融統制團體令ニ依リテ設立シ信託統制會ト稱ス

第三條 本會ハ事務所ヲ東京市ニ置ク

第二章 會員

第四條 本會ハ信託業法ニ依リ營業ノ免許ヲ受ケタル信託會社ヲ以テ之ヲ組織ス

第五條 會員ハ本會ノ定ムル統制規程ニ依ルベキモノトス

第六條 會員ハ本會又ハ全國金融統制會ヨリ其ノ事業ニ關スル資料ノ提出ヲ求メラレタルトキハ遲滯ナク之ヲ提出スベキモノトス

第七條 會員ハ其ノ業務又ハ財産ノ狀況ニ付本會又ハ全國金融統制會ノ役員又ハ職員ノ行フ検査

(追十二) 四〇六

ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避スルコトヲ得ザルモノトス

第三章 事業及其ノ執行

第八條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

一 信託會社ノ行フ資金ノ吸收及運用ニ關スル指導統制

二 信託業ノ整備ノ促進

三 信託業ノ機能ノ増進

四 信託業ト産業トノ關係ノ緊密化ノ促進

五 信託業ニ關スル調査及研究

六 前各號ニ掲グルモノノ外本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

第九條 本會カ會員ノ事業ニ關シ行フ統制ニ付テハ大藏大臣ノ認可ヲ受ケタル統制規程ノ定ムル所ニ依ルモノトス

理事長統制規程ヲ設定又ハ變更セントスルトキハ評議員ニ諮問スベキモノトス

第十條 本會ノ事業ノ執行ニ關シ必要ナル事項ハ理事長之ヲ定ム

第四章 役員

第十一條 本會ニ理事長一人並ニ理事、監事及評議員各若干人ヲ置ク

第十二條 理事長ハ本會ヲ代表シ信託業ノ指導統制其ノ他ノ會務ヲ總理ス

第十八條關係

(追十二) 八九三

理事ハ理事長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ豫メ理事長ノ定ムル順位ニ依リ理事長事故アルトキハ理事長ノ職務ヲ代理シ理事長缺員ノトキハ理事長ノ職務ヲ行フ

監事ハ本會ノ經理ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ理事長ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ理事長ニ對シ意見ヲ具申ス

第十三條 理事長ハ大藏大臣ノ命ジタル銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ大藏大臣ノ命ジタルモノトス

理事及評議員ハ信託業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ理事長大藏大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ命ズ

監事ハ評議員之ヲ選任ス

監事ノ選任ハ評議員ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲ス

第十四條 理事長及理事ノ任期ハ三年、監事及評議員ノ任期ハ二年トス

理事長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ大藏大臣ノ認可ヲ受ケ理事ヲ解任スルコトヲ得

第十五條 理事長及理事ハ大藏大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ他ノ職務又ハ商業ニ従事スルコトヲ得ザルモノトス但シ日本銀行ノ職員タルコトヲ妨ゲザルモノトス

第五章 會議

第十六條 總會ハ通常總會及臨時總會トス

通常總會ハ毎年一回之ヲ開催シ臨時總會ハ理事長必要アリト認ムルトキ隨時之ヲ開催ス總會ハ理事長之ヲ招集ス

總會ヲ招集スルニハ會員ニ對シ會日ヨリ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ示シ招集ノ通知ヲ發スルモノトス

總會ノ議長ハ理事長之ニ當ル

第十七條 左ニ掲グル事項ハ總會ニ諮リ理事長之ヲ決ス

- 一 定款ノ變更
- 二 收支豫算
- 三 第二十條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法

第十八條 理事長ハ毎年通常總會ニ本會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ監事ヲシテ經理ノ狀況ヲ報告セシム

第六章 經理

第十九條 本會ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第二十條 本會ハ會員ニ對シ其ノ經費ヲ賦課ス

第七章 解散及清算

第二十一條 本會ハ大藏大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

第十八條關係

第二十二條 清算人ハ裁判所ノ選任シタル者之ニ當ル

第八章 過怠金

第二十三條 本會ハ定款ニ違反シタル會員ニ對シ五千圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第二十四條 本會ハ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ一萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

金融統制團體令第四十六條ニ於テ準用スル同令第二十一條第一項ノ規定ニ依リ昭和十七年七月十六日信託統制會ノ左記統制規程設定ノ件認可シタリ

（昭和十七年七月十七日）
（大藏省告示第四百二十一號）

信託統制會統制規程第一號

資金ノ吸收及運用ノ計畫ニ關スル件

第一條 會員ハ理事長ノ定ムル所ニ依リ一定期間毎ニ其ノ行フ資金ノ吸收及運用ニ關スル計畫ヲ本會ニ提出スベシ
理事長ハ前項ノ計畫ノ變更ヲ命ジ又ハ前項ノ計畫ニ付金融統制上必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二條 會員ハ前條第一項ノ計畫及同條第二項ノ命令又ハ指示ニ依リ其ノ資金ノ運用ヲ行フベシ但シ主務大臣ヨリ特別ノ指示アリタルトキ又ハ特別ノ事由アル場合ニ於テ理事長ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

附則

本規程ハ大藏大臣ノ認可ノ告示アリタル日ヨリ之ヲ施行ス

第十八條關係

信託統制會統制規程第二號

有價證券ノ應募、引受又ハ買入等ニ關スル件

- 第一條 理事長ハ會員ニ對シ其ノ應募、引受又ハ買入ヲ爲スベキ有價證券ノ種類、金額又ハ割合其ノ他有價證券ニ關スル政府ノ計畫ノ實施ニ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ
- 第二條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ有價證券ノ應募、引受又ハ募集取扱ノ時期、方法又ハ條件ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ
- 第三條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ有價證券ノ賣買ノ時期、方法又ハ條件ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

附則

本規程ハ大藏大臣ノ認可ノ告示アリタル日ヨリ之ヲ施行ス
信託統制會統制規程第三號

資金ノ融通ニ關スル件

- 第一條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ會員ガ他ノ金融事業ヲ營ム者ト共同シテ資金ノ融通ヲ行フ場合ノ處理方法ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ
- 第二條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ其ノ行フ資金融通ノ制限ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

(連十二) 四〇八

附則

本規程ハ大藏大臣ノ認可ノ告示アリタル日ヨリ之ヲ施行ス
信託統制會統制規程第四號

金利等ノ調整ニ關スル件

- 第一條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ金錢信託ノ收益交付率其ノ他ノ資金吸收ノ方法及條件等ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ
- 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ前項ノ外信託財産受入ノ方法及條件等ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ
- 第二條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ貸出利率、擔保物件其ノ他ノ貸出ノ方法及條件等ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ
- 第三條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ業務上ノ手数料其ノ他之ニ準ズルモノニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

附則

本規程ハ大藏大臣ノ認可ノ告示アリタル日ヨリ之ヲ施行ス

(連十二) 四〇九

無盡業(金錢及有價證券以外ノ財産ノ給付ヲ爲ス無盡業ヲ除ク)ノ業態別統制會ハ昭和十七年五月十三日成立シ
タリ其ノ定款左ノ如シ
(昭和十七年五月二十日
大藏省告示第二百七十二號)

無盡統制會定款

第一章 總則

第一條 本會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲無盡業ノ機能ノ一體的發展ヲ圖ルニ必要ナル指導統制ヲ行ヒ且無盡業ニ關スル國策ノ遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第二條 本會ハ金融統制團體令ニ依リテ設立シ無盡統制會ト稱ス

第三條 本會ハ事務所ヲ東京市ニ置ク

第二章 會員

第四條 本會ハ無盡會社ニシテ大藏大臣ノ指定スルモノヲ以テ之ヲ組織ス

第五條 會員ハ本會ノ定ムル統制規程ニ依ルベキモノトス

第六條 會員ハ本會又ハ全國金融統制會ヨリ其ノ事業ニ關スル資料ノ提出ヲ求めラレタルトキハ遲滯ナク之ヲ提出スベキモノトス

第十八條關係

第七條 會員ハ其ノ業務又ハ財産ノ狀況ニ付本會又ハ全國金融統制會ノ役員又ハ職員ノ行フ検査ヲ距ミ、妨ゲ又ハ忌避スルコトヲ得ザルモノトス

第三章 事業及其ノ執行

第八條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 無盡會社ノ行フ資金ノ吸收及運用ニ關スル指導統制
- 二 無盡業ノ整備ノ促進
- 三 無盡業ノ機能ノ増進
- 四 無盡業ト産業トノ關係ノ緊密化ノ促進
- 五 無盡業ニ關スル調査及研究
- 六 前各號ニ掲グルモノノ外本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

第九條 本會ガ會員ノ事業ニ關シ行フ統制ニ付テハ大藏大臣ノ認可ヲ受ケタル統制規程ノ定ムル所ニ依ルモノトス

第十條 本會ノ事業ノ執行ニ關シ必要ナル事項ハ理事長之ヲ定ム

第四章 役員

第十一條 本會ニ理事長一人並ニ理事、監事及評議員各若干人ヲ置ク

理事長必要アリト認ムルトキハ副理事長一人ヲ置クコトヲ得

第十二條 理事長ハ本會ヲ代表シ無盡業ノ指導統制其ノ他ノ會務ヲ總理ス副理事長ハ理事長ヲ輔佐シ理事長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ理事長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事ハ理事長及副理事長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ豫メ理事長ノ定ムル順位ニ依リ理事長及副理事長共ニ事故アルトキハ理事長ノ職務ヲ代理シ理事長及副理事長共ニ缺員ノトキハ理事長ノ職務ヲ行フ

監事ハ本會ノ經理ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ理事長ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ理事長ニ對シ意見ヲ具申ス

第十三條 理事長ハ大藏大臣ノ命ジタル銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ大藏大臣ノ命ジタル者トス

副理事長及理事ハ無盡業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ理事長大藏大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ命ズ

監事ハ評議員之ヲ選任ス

監事ノ選任ハ評議員ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲ス評議員ハ無盡業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ理事長大藏大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ命ズ

第十四條 理事長、副理事長及理事ノ任期ハ三年、監事及評議員ノ任期ハ二年トス

第十八條關係

理事長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ大藏大臣ノ認可ヲ受ケ副理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得

第十五條 理事長、副理事長及理事ハ大藏大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得ザルモノトス但シ日本銀行ノ職員タルコトヲ妨ゲザルモノトス

第五章 會議

第十六條 總會ハ通常總會及臨時總會トス

通常總會ハ毎年一回之ヲ開催シ臨時總會ハ理事長必要アリト認ムルトキ隨時之ヲ開催ス總會ハ理事長之ヲ招集ス

總會ヲ招集スルニハ會員ニ對シ會日ヨリ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ示シ招集ノ通知ヲ發スルモノトス

總會ノ議長ハ理事長之ニ當ル

第十七條 左ニ掲グル事項ハ總會ニ諮リ理事長之ヲ決ス

一 定款ノ變更

二 收支豫算

三 第二十條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法

第十八條 理事長ハ毎年通常總會ニ本會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ監事ヲシテ經理ノ狀況ヲ報告セ

シム

第六章 經理

第十九條 本會ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第二十條 本會ハ會員ニ對シ其ノ經費ヲ賦課ス

賦課金ノ賦課徵收ニ關シテハ理事長之ヲ定ム

第七章 解散及清算

第二十一條 本會ハ大藏大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

第二十二條 清算人ハ裁判所ノ選任シタル者之ニ當ル

第八章 過怠金

第二十三條 本會ハ定款ニ違反シタル會員ニ對シ五千圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第二十四條 本會ハ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ一萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

金融統制團體令第四十六條ニ於テ準用スル同令第二十一條第一項ノ規定ニ依リ昭和十七年七月二十日無盡統制會ノ左記統制規程設定ノ件認可シタリ

(昭和十七年七月二十一日)
(大藏省告示第四百二十八號)

無盡統制會統制規程第一號

資金ノ吸收及運用ニ關スル件

第一條 會員ハ理事長ノ定ムル所ニ依リ一定期間毎ニ其ノ行フ資金ノ吸收及運用ニ關スル計畫ヲ本會ニ提出スベシ

理事長ハ前項ノ計畫ノ變更ヲ命ジ又ハ前項ノ計畫ニ付金融統制上必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二條 會員ハ前條第一項ノ計畫及同條第二項ノ命令又ハ指示ニ依リ其ノ資金ノ運用ヲ行フベシ但シ主務大臣ヨリ特別ノ指示アリタルトキ又ハ特別ノ事由アル場合ニ於テ理事長ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ無盡掛金表ノ預金利廻及金融利廻、掛金先掛割引利率、貸付利率、擔保物件其ノ他資金ノ吸收並ニ無盡ノ給付及貸付ノ方法及條件ニ關シ必

(追十二) 四一三

(追十二) 四一三

要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第四條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ一件ノ金額一定限度ヲ超ユル無盡ノ給付及貸付ニ付理事長ノ定ムル所ニ依ルベキコトヲ指示スルコトアルベシ

第五條 理事長必要アリト認ムルトキハ前條ニ規定スル場合ヲ除クノ外會員ニ對シ無盡ノ給付及貸付ノ制限ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第六條 理事長ハ會員ニ對シ其ノ取得スベキ有價證券ノ種類、金額又ハ割合其ノ他有價證券ニ關スル政府ノ計畫ノ實施ニ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第七條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ有價證券ノ取得又ハ處分ノ時期、方法又ハ條件ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第八條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ勸誘費、集金費及無盡解約手数料其ノ他ノ業務上ノ手数料等ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第九條 會員ハ無盡業法第八條第二號ノ規定ニ基キ事業方法又ハ無盡契約約款ノ變更ニ付大藏大臣ニ認可ヲ申請セントスルトキハ豫メ本會ニ申出ヅベシ

第十條 會員ハ無盡業法第十條第二項ノ規定ニ基キ有價證券ノ種類ニ付大藏大臣ニ認可ヲ申請セシムルトキハ豫メ本會ニ申出ヅベシ

附則

本規程ハ大藏大臣ノ認可ノ告示アリタル日ヨリ之ヲ施行ス

第十八條關係

不動産金融ヲ主タル目的トシテ特別ノ法令ニ依リ設立セ
ラレタル銀行ノ行フ事業ノ業態別統制會ハ昭和十七年五
月十四日成立シタリ其ノ定款左ノ如シ

(昭和十七年五月二十日)
(大藏省告示第二百七十五號)

勸農金融統制會定款

第一章 總 則

第一條 本會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲日本勸業銀行及農工銀行ノ營ム金融
事業(以下勸農金融事業ト稱ス)ニ付其ノ機能ノ一體的發展ヲ圖ルニ必要ナル指導統制ヲ行ヒ且
ツ之ニ關スル國策ノ遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第二條 本會ハ金融統制團體令ニ依リテ設立シ勸農金融統制會ト稱ス

第三條 本會ハ事務所ヲ東京市ニ置ク

第二章 會 員

第四條 本會ハ日本勸業銀行、愛知縣農工銀行、茨城農工銀行、岡山縣農工銀行、神奈川縣農工銀
行及福島縣農工銀行ヲ以テ之ヲ組織ス

(追十二) 四一四

(追十一) 九〇三

第五條 會員ハ本會ノ定ムル統制規程ニ依ルベキモノトス

第六條 會員ハ本會又ハ全國金融統制會ヨリ其ノ事業ニ關スル資料ノ提出ヲ求メラレタルトキハ
遲滞ナク之ヲ提出スベキモノトス

第七條 會員ハ其ノ業務又ハ財産ノ狀況ニ付本會又ハ全國金融統制會ノ役員又ハ職員ノ行フ検査
ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避スルコトヲ得ザルモノトス

第三章 事業及其ノ執行

第八條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 會員ノ行フ資金ノ吸收及運用ニ關スル指導統制
 - 二 勸農金融事業ノ整備ノ促進
 - 三 勸農金融事業ノ機能ノ増進
 - 四 勸農金融事業ト産業トノ關係ノ緊密化ノ促進
 - 五 勸農金融事業ニ關スル調査及研究
 - 六 前各號ニ掲グルモノノ外本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業
- 第九條 本會ガ會員ノ事業ニ關シ行フ統制ニ付テハ大藏大臣ノ認可ヲ受ケタル統制規程ノ定ムル
所ニ依ルモノトス

理事長統制規程ヲ設定又ハ變更セントスルトキハ評議員ニ諮問スベキモノトス

第十八條關係

第十條 本會ノ事業ノ執行ニ關シ必要ナル事項ハ理事長之ヲ定ム

第四章 役員

第十一條 本會ニ理事長、副理事長各一人並ニ理事、監事及評議員各若干人ヲ置ク

第十二條 理事長ハ本會ヲ代表シ勸農金融事業ノ指導統制其ノ他ノ會務ヲ總理ス

副理事長ハ理事長ヲ輔佐シ理事長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ理事長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事ハ理事長及副理事長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ豫メ理事長ノ定ムル順位ニ依リ理事長及副理事長共ニ事故アルトキハ理事長ノ職務ヲ代理シ理事長及副理事長共ニ缺員ノトキハ理事長ノ職務ヲ行フ

監事ハ本會ノ經理ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ理事長ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ理事長ニ對シ意見ヲ具申ス

第十三條 理事長ハ大藏大臣ノ命ジタル者ヲ以テ之ニ充ツ

副理事長、理事及評議員ハ勸農金融事業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ理事長大藏大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ命ズ

監事ハ評議員之ヲ選任ス

監事ノ選任ハ評議員ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲ス

第十四條 理事長、副理事長及理事ノ任期ハ三年、監事及評議員ノ任期ハ二年トス

理事長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ大藏大臣ノ認可ヲ受ケ副理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得

第十五條 理事長、副理事長及理事ハ大藏大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得ザルモノトス但シ日本銀行ノ職員タルコトヲ妨ゲザルモノトス

第五章 會議

第十六條 總會ハ通常總會及臨時總會トス

通常總會ハ毎年一回之ヲ開催シ臨時總會ハ理事長必要アリト認ムルトキ隨時之ヲ開催ス

總會ハ理事長之ヲ招集ス

總會ヲ招集スルニハ會員ニ對シ會日ヨリ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ示シ招集ノ通知ヲ發スルモノトス

總會ノ議長ハ理事長之ニ當ル

第十七條 左ニ掲グル事項ハ總會ニ諮リ理事長之ヲ決ス

一 定款ノ變更

二 收支豫算

三 第二十條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法

第十八條關係

第十八條 理事長ハ毎年通常總會ニ本會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ監事ヲシテ經理ノ狀況ヲ報告セシム

第六章 經理

第十九條 本會ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第二十條 本會ハ會員ニ對シ其ノ經費ヲ賦課ス
賦課金ノ賦課徴收ニ關シテハ理事長之ヲ定ム

第七章 解散及清算

第二十一條 本會ハ大藏大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

第二十二條 清算人ハ裁判所ノ選任シタル者之ニ當ル

第八章 過怠金

第二十三條 本會ハ定款ニ違反シタル會員ニ對シ五千圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第二十四條 本會ハ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ一萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

(連十二)

九〇六

(連十二)

四一五

金融統制團體令第四十六條ニ於テ準用スル同令第二十一條第一項ノ規定ニ依リ昭和十七年八月十一日勸農金融統制會ノ左記統制規程設定ノ件認可シタリ

(昭和十七年八月十二日
大藏省告示第四百六十七號)

勸農金融統制會統制規程第一號

資金ノ吸收及運用ノ計畫等ニ關スル件

第一條 會員ハ理事長ノ定ムル所ニ依リ一定期間毎ニ其ノ行フ資金ノ吸收及運用ニ關スル計畫ヲ本會ニ提出スベシ

理事長ハ前項ノ計畫ノ變更ヲ命ジ又ハ前項ノ計畫ニ付金融統制上必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二條 會員ハ前條第一項ノ計畫及同條第二項ノ命令又ハ指示ニ依リ其ノ資金ノ運用ヲ行フベシ但シ主務大臣ヨリ特別ノ指示アリタルトキ又ハ特別ノ事由アル場合ニ於テ理事長ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三條 會員債券ノ發行ニ付大藏大臣ニ認可ヲ申請セントスルトキハ豫メ本會ニ申出ヅベシ

附則

第十八條關係

本規程ハ大藏大臣ノ認可ノ告示アリタル日ヨリ之ヲ施行ス
勸農金融統制會統制規程第二號

有價證券ノ應募、引受又ハ買入等ニ關スル件

第一條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ其ノ應募、引受又ハ買入ヲ爲スベキ有價證券ノ種類、金額又ハ割合其ノ他有價證券ニ關スル政府ノ計畫ノ實施ニ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ有價證券ノ應募、引受又ハ募集取扱ノ時期、方法又ハ條件ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第三條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ有價證券ノ賣買ノ時期、方法又ハ條件ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

附則

本規程ハ大藏大臣ノ認可ノ告示アリタル日ヨリ之ヲ施行ス

勸農金融統制會統制規程第三號

資金ノ融通ニ關スル件

第一條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ資金ノ融通及回收ニ付テノ相互ノ連絡提携ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

(追十二)

四一六

(追十二)

四一七

第二條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ其ノ行フ資金融通ノ制限ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

附則

本規程ハ大藏大臣ノ認可ノ告示アリタル日ヨリ之ヲ施行ス

勸農金融統制會統制規程第四號

金利等ノ調整ニ關スル件

第一條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ預金利率其ノ他ノ資金吸收ノ方法及條件等ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ貸出利率、擔保物件其ノ他ノ貸出ノ方法及條件等ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第三條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ業務上ノ手数料其ノ他之ニ準ズルモノニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

附則

本規程ハ大藏大臣ノ認可ノ告示アリタル日ヨリ之ヲ施行ス

産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依リ手形ノ割引又ハ貯金ノ取扱ヲ爲ス信用組合ノ行フ事業ノ業態別統制會ハ昭和十七年五月十四日成立シタリ其ノ定款左ノ如シ

(昭和十七年五月二十日)
大藏省告示第五號
農林省告示第五號

市街地信用組合統制會定款

第一章 總則

第一條 本會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲市街地信用組合事業ノ機能ノ一體的發揮ヲ圖ルニ必要ナル指導統制ヲ行ヒ且市街地信用組合事業ニ關スル國策ノ遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第二條 本會ハ金融統制團體令ニ依リテ設立シ市街地信用組合統制會ト稱ス

第三條 本會ハ事務所ヲ東京市ニ置ク

第二章 會員

第四條 本會ハ市街地信用組合(産業組合法第一條四項ノ規定ニ依リ手形ノ割引又ハ貯金ノ取扱ヲ爲ス信用組合ヲ謂フ但シ臺灣又ハ構太ニ在ルモノヲ除ク)ヲ以テ之ヲ組織ス

第十八條關係

第五條 會員ハ本會ノ定ムル統制規程ニ依ルベキモノトス

第六條 會員ハ本會又ハ全國金融統制會ヨリ其ノ事業ニ關スル資料ノ提出ヲ求メラレタルトキハ遲滞ナク之ヲ提出スベキモノトス

第七條 會員ハ其ノ業務又ハ財産ノ狀況ニ付本會又ハ全國金融統制會ノ役員又ハ職員ノ行フ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避スルコトヲ得ザルモノトス

第三章 事業及其ノ執行

第八條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 市街地信用組合ノ行フ資金ノ吸收及運用ニ關スル指導統制
 - 二 市街地信用組合事業ノ整備ノ促進
 - 三 市街地信用組合事業ノ機能ノ増進
 - 四 市街地信用組合事業ト産業トノ關係ノ緊密化ノ促進
 - 五 市街地信用組合事業ニ關スル調査及研究
 - 六 前各號ニ掲グルモノノ外本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業
- 第九條 本會ガ會員ノ事業ニ關シ行フ統制ニ付テハ大藏大臣及農林大臣ノ認可ヲ受ケタル統制規程ノ定ムル所ニ依ルモノトス
- 理事長統制規程ヲ設定又ハ變更セントスルトキハ評議員ニ諮問スベキモノトス

第十條 本會ノ事業ノ執行ニ關シ必要ナル事項ハ理事長之ヲ定ム

第四章 役員

第十一條 本會ニ理事長一人並ニ理事、監事及評議員各若干人ヲ置ク理事長必要アリト認ムルトキハ副理事長一人ヲ置クコトヲ得

第十二條 理事長ハ本會ヲ代表シ市街地信用組合事業ノ指導統制其ノ他ノ會務ヲ總理ス

副理事長ハ理事長ヲ輔佐シ理事長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ理事長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事ハ理事長及副理事長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ豫メ理事長ノ定ムル順位ニ依リ理事長及副理事長共ニ事故アルトキハ理事長ノ職務ヲ代理シ理事長及副理事長共ニ缺員ノトキハ理事長ノ職務ヲ行フ

監事ハ本會ノ經理ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ理事長ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ理事長ニ對シ意見ヲ具申ス

第十三條 理事長ハ市街地信用組合事業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ大藏大臣及農林大臣ノ命ジタル者トス

副理事長、理事及評議員ハ市街地信用組合事業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ理事長大藏大臣及農林大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ命ズ

第十八條關係

監事ハ評議員之ヲ選任ス

監事ノ選任ハ評議員ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲ス

第十四條 理事長、副理事長及理事ノ任期ハ三年、監事及評議員ノ任期ハ二年トス

理事長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ大藏大臣及農林大臣ノ認可ヲ受ケ副理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得

第十五條 理事長、副理事長及理事ハ大藏大臣及農林大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ他ノ職務又ハ商業ニ従事スルコトヲ得ザルモノトス但シ日本銀行ノ職員タルコトヲ妨ゲザルモノトス

第五章 會議

第十六條 總會ハ通常總會及臨時總會トス

通常總會ハ毎年一回之ヲ開催シ臨時總會ハ理事長必要アリト認ムルトキ隨時之ヲ開催ス總會ハ理事長之ヲ召集ス

總會ヲ召集スルニハ會員ニ對シ會日ヨリ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ示シ召集ノ通知ヲ發スルモノトス

總會ノ議長ハ理事長之ニ當ル

第十七條 左ニ掲グル事項ハ總會ニ諮リ理事長之ヲ決ス

一 定款ノ變更

(追十一) 九一〇

(追十二) 四一九

二 收支豫算

三 第二十條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法

第十八條 理事長ハ毎年通常總會ニ本會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ監事ヲシテ經理ノ狀況ヲ報告セシム

第六章 經理

第十九條 本會ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第二十條 本會ハ會員ニ對シ其ノ經費ヲ賦課ス
賦課金ノ賦課徵收ニ關シテハ理事長之ヲ定ム

第七章 解散及清算

第二十一條 本會ハ大藏大臣及農林大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

第二十二條 清算人ハ裁判所ノ選任シタル者之ニ當ル

第八章 過怠金

第二十三條 本會ハ定款ニ違反シタル會員ニ對シ五千圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第二十四條 本會ハ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ一萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第十八條關係

二九二ノ一

金融統制團體令第四十六條ニ於テ準用スル同令第二十一條第一項ノ規定ニ依リ昭和十七年八月四日市街地信用組合統制會ノ左記統制規程設定ノ件認可シタリ

(昭和十七年八月五日)
大藏省、農林省告示第十三號

市街地信用組合統制規程第一號

資金ノ吸收及運用ノ計畫ニ關スル件

第一條 會員ハ理事長ノ定ムル所ニ依リ一定期間毎ニ其ノ行フ資金ノ吸收及運用ニ關スル計畫ヲ本會ニ提出スベシ

理事長ハ前項ノ計畫ノ變更ヲ命ジ又ハ前項ノ計畫ニ付金融統制上必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二條 會員ハ前條第一項ノ計畫及同條第二項ノ命令又ハ指示ニ依リ其ノ資金ノ運用ヲ行フベシ但シ主務官廳ヨリ特別ノ指示アリタルトキ又ハ特別ノ事由アル場合ニ於テ理事長ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

附則

本規程ハ大藏大臣及農林大臣ノ認可ノ告示アリタル日ヨリ之ヲ施行ス

市街地信用組合統制規程第二號

資金ノ吸收及運用ニ關スル件

第一條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ貯金利率其ノ他ノ資金吸收ノ方法及條件等ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ貸出利率、擔保物件其ノ他ノ貸出ノ方法及條件等ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第三條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ其ノ行フ資金融通ノ制限ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第四條 理事長ハ會員ニ對シ其ノ取得スベキ有價證券ノ種類、金額又ハ割合其ノ他有價證券ニ關スル政府ノ計畫ノ實施ニ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第五條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ有價證券ノ取得又ハ處分ノ時期、方法又ハ條件ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第六條 理事長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ其ノ行フ預ケ金ノ方法ニヨル資金ノ運用ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

附則

本規程ハ大藏大臣及農林大臣ノ認可ノ告示アリタル日ヨリ之ヲ施行ス

第十八條關係

全國金融統制會ハ昭和十七年五月二十三日成立シタリ其

ノ定款左ノ如シ

(昭和十七年五月二十七日
大藏省告示第三百一號)

全國金融統制會定款

第一章 總則

第一條 本會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲金融事業(有價證券ニ關スル事業ヲ含ム以下同ジ)ノ機能ノ綜合的發揮ヲ圖ルニ必要ナル指導統制ヲ行ヒ且金融ニ關スル國策ノ立案及遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第二條 本會ハ金融統制團體令ニ依リ設立シ全國金融統制會ト稱ス

第三條 本會ハ事務所ヲ東京市ニ置ク

第二章 會員

第四條 本會ハ日本銀行、業態別統制會及金融事業ヲ營ム者ニシテ大藏大臣ノ指定シタルモノヲ以テ之ヲ組織ス

第五條 會員ハ本會ノ定ムル統制規程ニ依ルベキモノトス

第六條 會員ハ本會ヨリ金融事業ニ關スル事項ノ調査ヲ爲ス爲必要ナル資材ノ提出ヲ求メラレタルトキハ遲滯ナク之ヲ提出スベキモノトス

(第十一) 四二二

(第十一) 九一三

第七條 會員ハ其ノ業務又ハ財産ノ狀況ニ付本會ノ役員又ハ職員ノ行フ検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避スルコトヲ得ザルモノトス

第三章 事業及其ノ執行

第八條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 金融ニ關スル政府ノ計畫ニ對スル參畫
- 二 金融事業ヲ營ム者ノ行フ資金ノ吸收及運用ニ關スル指導統制
- 三 金融事業ノ整備ノ促進
- 四 金融事業ノ機能ノ増進
- 五 金融事業ト産業トノ關係ノ緊密化ノ促進
- 六 金融事業ニ關スル調査及研究
- 七 前各號ニ掲グルモノノ外本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

第九條 本會ハ前條ノ事業ノ外業態別統制會ノ會員ニ非ザル統制組合ニシテ大藏大臣ノ指定シタルモノ及地方金融協議會ノ事業ノ指導統制ヲ行フ

本會ガ前項ノ規定ニ依リ行フ指導統制ニ付テハ大藏大臣ノ認可ヲ受ケタル準則ノ定ムル所ニ依ルモノトス

第十條 本會ガ會員ノ事業ニ關シ行フ統制ニ付テハ大藏大臣ノ認可ヲ受ケタル統制規程ノ定ムル

第十八條關係

所ニ依ルモノトス

二九六

會長統制規程ヲ設定又ハ變更セントスルトキハ評議員ニ諮問スベキモノトス

第十一條 本會ノ事業ノ執行ニ關シ必要ナル事項ハ會長之ヲ定ム

第四章 役員

第十二條 本會ニ會長一人、副會長二人以内、理事、監事及評議員各若干人ヲ置ク

第十三條 會長ハ本會ヲ代表シ金融事業ノ指導統制其ノ他ノ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ輔佐シ豫メ會長ノ定ムル順位ニ依リ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ會長
缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事ハ會長及副會長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ豫メ會長ノ定ムル順位ニ依リ會長及副會長共ニ事故
アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長及副會長共ニ缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ

監事ハ本會ノ經理ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ會長ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會長ニ對シ意見ヲ具申ス

第十四條 會長ハ日本銀行總裁ヲ以テ之ニ充ツ

副會長、理事及監事ハ金融事業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ大藏大臣ノ命ジタルモノ
トス

評議員ハ金融事業又ハ産業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ大藏大臣ノ命ジタルモノ

(追十一) 九一四

(追十一) 九一五

トス

第十五條 副會長及理事ノ任期ハ三年、監事及評議員ノ任期ハ二年トス

第十六條 副會長及理事ハ大藏大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ他ノ職務又ハ商業ニ従事スルコト
ヲ得ザルモノトス但シ日本銀行ノ職員タルコトヲ妨ゲザルモノトス

第五章 會議

第十七條 總會ハ通常總會及臨時總會トス

通常總會ハ毎年一回之ヲ開催シ臨時總會ハ會長必要アリト認ムルトキ隨時之ヲ開催ス

總會ハ會長之ヲ召集ス

總會ヲ召集スルニハ會員ニ對シ會日ヨリ少クトモ一週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所

ヲ示シ召集ノ通知ヲ發スルモノトス

總會ノ議長ハ會長之ニ當ル

第十八條 左ニ掲グル事項ハ總會ニ諮リ會長之ヲ決ス

一 定款ノ變更

二 收支豫算

三 第二十一條ノ規定ニ係ル賦課金ノ賦課徵收方法

第十九條 會長ハ毎年通常總會ニ本會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ監事ヲシテ經理ノ狀況ヲ報告セシム

第十八條關係

二九七

第六章 經理

第二十條 本會ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第二十一條 本會ハ會員ニ對シ其ノ經費ヲ賦課ス

賦課金ノ賦課徵收ニ關シテハ會長之ヲ定ム

第七章 解散及清算

第二十二條 本會ハ大藏大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

第二十三條 清算人ハ裁判所ノ選任シタル者之ニ當ル

第八章 過怠金

第二十四條 本會ハ定款ニ違反シタル會員ニ對シ五千圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第二十五條 本會ハ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ一萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

金融統制團體令第二十一條第一項ノ規定ニ依リ昭和十七年七月一日全國金融統制會ノ左記統制規程設定ノ件認可

シタリ (昭和十七年七月二日 大藏省告示第三百八十九號)

全國金融統制會統制規程第一號

業態別統制會ノ統制規程ノ設定等ニ關スル件

第一條 業態別統制會統制規程ヲ設定、變更又ハ廢止セントスルトキハ主務大臣ノ命ニ依ル場合ノ外豫メ本會ノ承認ヲ受クベシ

第二條 業態別統制會金融統制團體令ニ基キ主務大臣ニ對シ認可ヲ申請シタルトキハ遲滯ナク其ノ副本ヲ本會ニ提出スベシ

前項ノ申請ニ對シ主務大臣ノ認可アリタルトキハ業態別統制會ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ本會ニ報告スベシ

附則

本規程ハ大藏大臣ノ認可ノ告示アリタル日ヨリ之ヲ施行ス

全國金融統制會統制規程第二號

資金ノ吸收及運用ノ計畫ニ關スル件

第十八條關係

第一條 會員タル金融事業ヲ營ム者ハ會長ノ定ムル所ニ依リ一定期間毎ニ其ノ行フ資金ノ吸收及運用ニ關スル計畫ヲ本會ニ提出スベシ
業態別統制會ハ會長ノ定ムル所ニ依リ一定期間毎ニ其ノ會員又ハ其ノ會員タル統制組合ノ組合員ノ行フ資金ノ吸收及運用ニ關スル綜合計畫ヲ本會ニ提出スベシ
會長ハ前二項ノ計畫ノ變更ヲ命ジ又ハ前二項ノ計畫ニ付金融統制上必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二條 會員タル金融事業ヲ營ム者ハ前條第一項ノ計畫及同條第三項ノ命令又ハ指示ニ依リ其ノ資金ノ運用ヲ行フベシ但シ主務大臣ヨリ特別ノ指示アリタルトキ又ハ特別ノ事由アル場合ニ於テ會長ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ
業態別統制會ハ其ノ會員又ハ其ノ會員タル統制組合ノ組合員ノ行フ資金ノ運用ニ關シ前條第二項ノ計畫及同條第三項ノ命令又ハ指示ニ基キ必要ナル指導統制ヲ行フベシ但シ主務大臣ヨリ特別ノ指示アリタルトキ又ハ特別ノ事由アル場合ニ於テ會長ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

附則

本規程ハ大藏大臣ノ認可ノ告示アリタル日ヨリ之ヲ施行ス
全國金融統制會統制規程第三號

有價證券ノ應募、引受又ハ買入等ニ關スル件

第一條 會長ハ有價證券ニ關スル政府ノ計畫ニ基キ會員タル金融事業ヲ營ム者ニ對シ其ノ應募、引受又ハ買入ヲ爲スベキ有價證券ノ種類、金額又ハ割合其ノ他當該計畫ノ實施ニ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

會長ハ有價證券ニ關スル政府ノ計畫ニ基キ業態別統制會ニ對シ其ノ會員又ハ其ノ會員タル統制組合ノ組合員ガ應募、引受又ハ買入ヲ爲スベキ有價證券ノ種類、金額又ハ割合其ノ他當該計畫ノ實施ニ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

業態別統制會前項ノ指示ヲ受ケタルトキハ之ニ基キ遲滞ナク其ノ會員タル金融事業ヲ營ム者ニ對シ其ノ應募、引受若ハ買入ヲ爲スベキ有價證券ノ種類、金額若ハ割合其ノ他必要ナル事項ヲ指示シ又ハ其ノ會員タル統制組合ニ對シ其ノ組合員ノ應募、引受若ハ買入ヲ爲スベキ有價證券ノ種類、金額若ハ割合其ノ他必要ナル事項ヲ指示スベシ

第二條 會長必要アリト認ムルトキハ會員タル金融事業ヲ營ム者ニ對シ有價證券ノ應募、引受又ハ募集取扱ノ時期、方法又ハ條件ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

會長必要アリト認ムルトキハ業態別統制會ニ對シ其ノ會員又ハ其ノ會員タル統制組合ノ組合員ノ行フ有價證券ノ應募、引受又ハ募集取扱ノ時期、方法又ハ條件ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十八條關係

業態別統制會前項ノ指示ヲ受ケタルトキハ之ニ基キ遲滯ナク會員ニ對シ會員又ハ會員タル統制組合ノ組合員ノ行フ有價證券ノ應募、引受又ハ募集取扱ノ時期、方法又ハ條件ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スベシ

第三條 會長必要アリト認ムルトキハ會員タル金融事業ヲ營ム者ニ對シ有價證券ノ賣買ノ時期、方法又ハ條件ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

會長必要アリト認ムルトキハ業態別統制會ニ對シ其ノ會員又ハ其ノ會員タル統制組合ノ組合員ノ行フ有價證券ノ賣買ノ時期、方法又ハ條件ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

業態別統制會前項ノ指示ヲ受ケタルトキハ之ニ基キ遲滯ナク會員ニ對シ會員又ハ會員タル統制組合ノ組合員ノ行フ有價證券ノ賣買ノ時期、方法又ハ條件ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スベシ

附則

本規程ハ大藏大臣ノ認可ノ告示アリタル日ヨリ之ヲ施行ス

全國金融統制會統制規程第四號

資金ノ融通ニ關スル件

第一條 會長必要アリト認ムルトキハ會員タル金融事業ヲ營ム者ニ對シ其ノ者ガ他ノ金融事業ヲ營ム者ト共同シテ資金ノ融通ヲ行フ場合ノ處理方法ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

會長必要アリト認ムルトキハ業態別統制會ニ對シ其ノ會員タル金融事業ヲ營ム者ガ他ノ金融事業ヲ營ム者ト共同シテ資金ノ融通ヲ行フ場合ノ處理方法ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

業態別統制會前項ノ指示ヲ受ケタルトキハ之ニ基キ遲滯ナク會員ニ對シ會員タル金融事業ヲ營ム者ガ他ノ金融事業ヲ營ム者ト共同シテ資金ノ融通ヲ行フ場合ノ處理方法ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スベシ

第二條 會長必要アリト認ムルトキハ會員タル金融事業ヲ營ム者ノ行フ資金融通ノ制限ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

會長必要アリト認ムルトキハ業態別統制會ニ對シ其ノ會員又ハ其ノ會員タル統制組合ノ組合員ノ行フ資金融通ノ制限ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

業態別統制會前項ノ指示ヲ受ケタルトキハ之ニ基キ遲滯ナク會員ニ對シ會員又ハ會員タル統制組合ノ組合員ノ行フ資金融通ノ制限ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スベシ

附則

本規程ハ大藏大臣ノ認可ノ告示アリタル日ヨリ之ヲ施行ス

全國金融統制會統制規程第五號

金利等ノ調整ニ關スル件

第十八條關係

第一條 會長必要アリト認ムルトキハ會員タル金融事業ヲ營ム者ニ對シ預金利率其ノ他資金吸收ノ方法及條件等ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ
會長必要アリト認ムルトキハ業態別統制會ニ對シ其ノ會員又ハ其ノ會員タル統制組合ノ組合員ノ預貯金利率、保險料率其ノ他資金吸收ノ方法及條件等ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

業態別統制會前項ノ指示ヲ受ケタルトキハ之ニ基キ遲滞ナク會員ニ對シ會員又ハ會員タル統制組合ノ組合員ノ預貯金利率、保險料率其ノ他資金吸收ノ方法及條件等ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スベシ

第二條 會長必要アリト認ムルトキハ會員タル金融事業ヲ營ム者ニ對シ貸出利率、擔保物件其ノ他貸出ノ方法及條件等ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

會長必要アリト認ムルトキハ業態別統制會ニ對シ其ノ會員又ハ其ノ會員タル統制組合ノ組合員ノ貸出利率、擔保物件其ノ他貸出ノ方法及條件等ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ
業態別統制會前項ノ指示ヲ受ケタルトキハ之ニ基キ遲滞ナク會員ニ對シ會員又ハ會員タル統制組合ノ組合員ノ貸出利率、擔保物件其ノ他貸出ノ方法及條件等ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スベシ

第三條 會長必要アリト認ムルトキハ會員タル金融事業ヲ營ム者ニ對シ爲替手数料、代金取立手数料等ノ業務上ノ手数料其ノ他之ニ準ズルモノニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ
會長必要アリト認ムルトキハ業態別統制會ニ對シ其ノ會員又ハ其ノ會員タル統制組合ノ組合員ノ爲替手数料、代金取立手数料等ノ業務上ノ手数料其ノ他之ニ準ズルモノニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

業態別統制會前項ノ指示ヲ受ケタルトキハ之ニ基キ遲滞ナク會員ニ對シ會員又ハ會員タル統制組合ノ組合員ノ爲替手数料、代金取立手数料等ノ業務上ノ手数料其ノ他之ニ準ズルモノニ關シ必要ナル事項ヲ指示スベシ

附則

本規程ハ大藏大臣ノ認可ノ告示アリタル日ヨリ之ヲ施行ス

信用組合(產業組合法第一條第四項ノ規定ニ依リ手形ノ
割引又ハ貯金ノ取扱ヲ爲ス信用組合ヲ除ク)、信用組合聯
合會及產業組合中央金庫ノ行フ事業ノ業態別統制會ハ昭
和十七年五月三十日成立シタリ其ノ定款左ノ如シ

(昭和十七年六月二日)
農林省大藏省告示第十號

組合金融統制會定款

第一章 總 則

第一條 本會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲組合金融事業ノ機能ノ一體的發展ヲ
圖ルニ必要ナル指導統制ヲ行ヒ且組合金融事業ニ關スル國策ノ遂行ニ協力スルコトヲ目的トス
第二條 本會ハ金融統制團體令ニ依リ設立シ組合金融統制會ト稱ス
第三條 本會ハ事務所ヲ東京市ニ置ク

第二章 會 員

第四條 本會ハ產業組合中央金庫及道府縣組合金融統制團ヲ以テ之ヲ組織ス
第五條 會員ハ其ノ事業ニ關シテハ本會ノ定ムル統制規程ニ依ルベキモノトス
第六條 會員ハ本會又ハ全國金融統制會ヨリ其ノ事業ニ關スル資材ノ提出ヲ求メラレタルトキハ

第十八條關係

遲滯ナク之ヲ提出スベキモノトス

第七條 會員ハ其ノ業務若ハ財産ノ狀況ニ付本會又ハ全國金融統制會ノ役員若ハ職員ノ行フ検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避スルコトヲ得ザルモノトス

第三章 事業及其ノ執行

第八條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 組合金融事業ヲ營ム者ノ行フ資金ノ吸收及運用ニ關スル指導統制
- 二 組合金融事業ノ整備ノ促進
- 三 組合金融事業ノ機能ノ増進
- 四 組合金融事業ト産業トノ關係ノ緊密化ノ促進
- 五 組合金融事業ニ關スル調査及研究
- 六 前各號ニ掲グルモノノ外本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

本會ハ前項ニ掲グル事業ノ外臨時資金調整法ニ依ル自治的資金調整ニ關スル事業ヲ行フ

第九條 本會ガ會員ノ事業ニ關シテ行フ統制ニ付テハ農林大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受ケタル統制規程ノ定ムル所ニ依ル

統制規程ノ設定又ハ變更ニ付テハ評議員ニ諮問スベキモノトス

第十條 本會ノ事業ノ執行ニ關シ必要ナル事項ハ理事長之ヲ定ム

第四章 役員

第十一條 本會ニ理事長一人並ニ理事、監事及評議員各若干人ヲ置ク

第十二條 理事長ハ本會ヲ代表シ組合金融事業ノ指導統制其ノ他ノ會務ヲ總理ス

理事ハ理事長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ豫メ理事長ノ定ムル順位ニ依リ理事長事故アルトキハ理事長ノ職務ヲ代理シ知事長缺員ノトキハ理事長ノ職務ヲ行フ

監事ハ本會ノ經理ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ理事長ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ理事長ニ對シ意見ヲ具申ス

第十三條 理事長ハ組合金融事業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ農林大臣及大藏大臣ノ命ジタル者トス

理事及評議員ハ組合金融事業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ理事長農林大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ命ズ

監事ハ評議員之ヲ選任ス

監事ノ選任ハ評議員ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲ス

第十四條 理事長及理事ノ任期ハ三年、監事及評議員ノ任期ハ二年トス

理事長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ農林大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受ケ理事ヲ解任スルコトヲ得

第十八條關係

第五章 會議

第十五條 總會ハ通常總會及臨時總會トス

通常總會ハ毎年一回之ヲ開催シ臨時總會ハ理事長必要アリト認ムルトキ隨時之ヲ開催ス

總會ハ理事長之ヲ招集ス

總會ヲ招集スルニハ會員ニ對シ會日ヨリ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ示シ招集ノ通知ヲ發スルモノトス

總會ノ議長ハ理事長之ニ當ル

第十六條 左ニ掲グル事項ハ總會ニ諮リ理事長之ヲ決ス

一 定款ノ變更

二 收支豫算

三 第二十條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法

第十七條 理事長ハ毎年通常總會ニ本會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ監事ヲシテ經理ノ狀況ヲ報告セシム

第六章 經理

第十八條 本會ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第十九條 本會ノ經費ハ賦課金、寄附金其ノ他ノ收入ヲ以テ以テ支辨ス

(通十二) 九二〇

(通十二) 四三三

第二十條 本會ハ會員ニ對シ其ノ經費ヲ賦課ス
賦課金ノ賦課徵收ニ關シテハ理事長之ヲ定ム

第七章 解散及清算

第二十一條 本會ハ農林大臣及大藏大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

第二十二條 清算人ハ裁判所ノ選任シタル者之ニ當ル

第八章 過怠金

第二十三條 本會ハ定款ニ違反シタル會員ニ對シ五千圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第二十四條 本會ハ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ一萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

金融統制團體令第四十六條ニ於テ準用スル同令第二十一條第一項ノ規定ニ依リ昭和十七年七月三十一日組合金融統制會ノ左記統制規程設定ノ件認可シタリ

(昭和十七年八月一日)
(農林省、大藏省告示第十五號)

組合金融統制會統制規程

第一條 組合金融統制團統制規程ヲ設定又ハ變更セントスルトキハ農林大臣及大藏大臣ノ命ニ依ル場合ノ外豫メ本會ノ承認ヲ受クベシ

第二條 産業組合中央金庫ハ理事長ノ定ムル所ニ依リ一定期間毎ニ其ノ行フ資金ノ吸收及運用ニ關スル計畫ヲ本會ニ提出スベシ

組合金融統制團ハ理事長ノ定ムル所ニ依リ一定期間毎ニ其ノ團員ノ行フ資金ノ吸收及運用ニ關スル綜合計畫ヲ本會ニ提出スベシ
理事長ハ前二項ノ計畫ノ變更ヲ命ジ又ハ前二項ノ計畫ニ付金融統制上必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第三條 産業組合中央金庫ハ前條第一項ノ計畫及同條第三項ノ命令又ハ指示ニ依リ其ノ資金ノ運用ヲ行フベシ但シ農林大臣及大藏大臣ヨリ特別ノ指示アリタルトキ又ハ特別ノ事由アル場合ニ

(連十二)

四三三

(連十二)

四三三

於テ理事長ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

組合金融統制團ハ團員ニ對シ其ノ行フ資金ノ運用ニ關シ前條第二項ノ計畫及同條第三項ノ命令又ハ指示ニ基キ必要ナル指導統制ヲ行フベシ但シ主務官廳ヨリ特別ノ指示アリタルトキ又ハ特別ノ事由アル場合ニ於テ理事長ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第四條 理事長必要アリト認ムルトキハ産業組合中央金庫ニ對シ預金利率其ノ他ノ資金吸收ノ方法及條件等ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

理事長必要アリト認ムルトキハ組合金融統制團ニ對シ其ノ團員ノ貯金利率其ノ他ノ資金吸收ノ方法及條件等ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

組合金融統制團前項ノ指示ヲ受ケタルトキハ之ニ基キ遲滞ナク團員ニ對シ貯金利率其ノ他ノ資金吸收ノ方法及條件等ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スベシ

第五條 理事長必要アリト認ムルトキハ産業組合中央金庫ニ對シ貸出利率、擔保物件其ノ他ノ貸出ノ方法及條件等ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

理事長必要アリト認ムルトキハ組合金融統制團ニ對シ其ノ團員ノ貸出利率、擔保物件其ノ他ノ貸出ノ方法及條件等ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

組合金融統制團前項ノ指示ヲ受ケタルトキハ之ニ基キ遲滞ナク團員ニ對シ貸出利率、擔保物件其ノ他ノ貸出ノ方法及條件等ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スベシ

第六條 理事長必要アリト認ムルトキハ産業組合中央金庫ニ對シ其ノ行フ資金融通ノ制限ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

理事長必要アリト認ムルトキハ組合金融統制團ニ對シ其ノ團員ノ行フ資金融通ノ制限ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

組合金融統制團前項ノ指示ヲ受ケタルトキハ之ニ基キ遲滯ナク團員ニ對シ其ノ行フ資金融通ノ制限ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スベシ

第七條 理事長必要アリト認ムルトキハ産業組合中央金庫ニ對シ他ノ金融事業ヲ營ム者ト共同シテ資金ノ融通ヲ行フ場合ノ處理方法ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第八條 理事長必要アリト認ムルトキハ組合金融統制團ニ對シ其ノ團員ノ行フ預ケ金ノ方法ニ依ル資金ノ運用ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

組合金融統制團前項ノ指示ヲ受ケタルトキハ之ニ基キ遲滯ナク團員ニ對シ其ノ行フ預ケ金ノ方法ニ依ル資金ノ運用ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スベシ

第九條 理事長ハ産業組合中央金庫ニ對シ其ノ應募、引受又ハ買入ヲ爲スベキ有價證券ノ種類、金額又ハ割合其ノ他有價證券ニ關スル政府ノ計畫ノ實施ニ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

理事長ハ組合金融統制團ニ對シ其ノ團員ガ買入ヲ爲スベキ有價證券ノ種類、金額又ハ割合其ノ

(第十一)

四三五

(第十二)

四三五

他有價證券ニ關スル政府ノ計畫ノ實施ニ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

組合金融統制團前項ノ指示ヲ受ケタルトキハ之ニ基キ遲滯ナク團員ニ對シ其ノ買入ヲ爲スベキ有價證券ノ種類、金額又ハ割合其ノ他必要ナル事項ヲ指示スベシ

第十條 理事長必要アリト認ムルトキハ産業組合中央金庫ニ對シ有價證券ノ應募、引受又ハ賣買ノ時期、方法又ハ條件ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

理事長必要アリト認ムルトキハ組合金融統制團ニ對シ其ノ團員ノ行フ有價證券ノ買入又ハ處分ノ時期、方法又ハ條件ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

組合金融統制團前項ノ指示ヲ受ケタルトキハ之ニ基キ遲滯ナク團員ニ對シ其ノ行フ有價證券ノ買入又ハ處分ノ時期、方法又ハ條件ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スベシ

第十一條 理事長必要アリト認ムルトキハ産業組合中央金庫ニ對シ業務上ノ手数料其ノ他之ニ準ズルモノニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十二條 理事長必要アリト認ムルトキハ産業組合中央金庫ニ對シ其ノ行フ金融事業ニ關スル事項ヲ調査スル爲必要ナル資料ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

理事長必要アリト認ムルトキハ組合金融統制團ニ對シ其ノ團員ノ行フ金融事業ニ關スル事項ヲ調査スル爲必要ナル資料ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

組合金融統制團前項ノ命ヲ受ケタルトキハ之ニ基キ遲滯ナク團員ニ對シ資料ノ提出ヲ命ズベシ

附則

本規程ハ農林大臣及大藏大臣ノ認可ノ告示アリタル日ヨリ之ヲ施行ス

銀行法ニ依リ營業ノ免許ヲ受ケタル銀行ニシテ昭和十七年四月大藏省告示第九十五號第二號ニ掲ケルモノ以外ノモノノ行フ事業ノ業態別統制會ハ昭和十七年五月十一日成立シタリ其ノ定款左ノ如シ
(昭和十七年五月十六日 大藏省告示第二百四十八號)

地方銀行統制會定款

第一章 總則

第一條 本會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲地方普通銀行業ノ機能ノ一體的發揮ヲ圖ルニ必要ナル指導統制ヲ行ヒ且地方普通銀行業ニ關スル國策ノ遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第二條 本會ハ金融統制團體令ニ依リテ設立シ地方銀行統制會ト稱ス

第三條 本會ハ事務所ヲ東京市ニ置ク

第二章 會員

第四條 本會ハ地方普通銀行(銀行法ニ依リ營業ノ免許ヲ受ケタル銀行ニシテ昭和十七年四月大藏省告示第九十五號中第二號ニ該當セザルモノヲ謂フ)ニシテ大藏大臣ノ指定シタルモノヲ以テ之ヲ組織ス

第十八條關係

第五條 會員ハ本會ノ定ムル統制規程ニ依ルベキモノトス

第六條 會員ハ本會又ハ全國金融統制會ヨリ其ノ事業ニ關スル資料ノ提出ヲ求メラレタルトキハ遲滯ナク之ヲ提出スベキモノトス

第七條 會員ハ其ノ業務又ハ財産ノ狀況ニ付本會又ハ全國金融統制會ノ役員又ハ職員ノ行フ検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避スルコトヲ得ザルモノトス

第三章 事業及其ノ執行

第八條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 地方普通銀行ノ行フ資金ノ吸收及運用ニ關スル指導統制
- 二 地方普通銀行業ノ整備ノ促進
- 三 地方普通銀行業ノ機能ノ増進
- 四 地方普通銀行業ト産業トノ關係ノ緊密化ノ促進
- 五 地方普通銀行業ニ關スル調査及研究
- 六 前各號ニ掲グルモノノ外本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

第九條 本會ガ會員ノ事業ニ關シ行フ統制ニ付テハ大藏大臣ノ認可ヲ受ケタル統制規程ノ定ムル所ニ依ルモノトス

理事長統制規程ヲ設定又ハ變更セントスルトキハ評議員ニ諮問スベキモノトス

(追十二)

四三八

(追十二)

四三九

第十條 本會ノ事業ノ執行ニ關シ必要ナル事項ハ理事長之ヲ定ム

第四章 役員

第十一條 本會ニ理事長一人並ニ理事、監事及評議員各若干人ヲ置ク

第十二條 理事長ハ本會ヲ代表シ地方普通銀行業ノ指導統制其ノ他ノ會務ヲ總理ス

理事ハ理事長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ豫メ理事長ノ定ムル順位ニ依リ理事長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ理事長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

監事ハ本會ノ經理ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ理事長ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ理事長ニ對シ意見ヲ具申ス

第十三條 理事長ハ大藏大臣ノ命ジタル銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ大藏大臣ノ命ジタルモノトス

理事及評議員ハ地方普通銀行業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ理事長大藏大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ命ズ

監事ハ評議員之ヲ選任ス

監事ノ選任ハ評議員ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲ス

第十四條 理事長及理事ノ任期ハ三年、監事及評議員ノ任期ハ二年トス

理事長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ大藏大臣ノ認可ヲ受ケ理事ヲ解任スルコトヲ得

第十八條關係